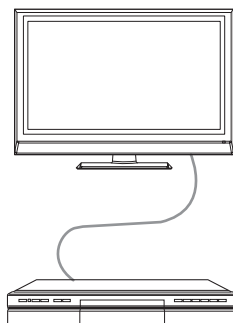
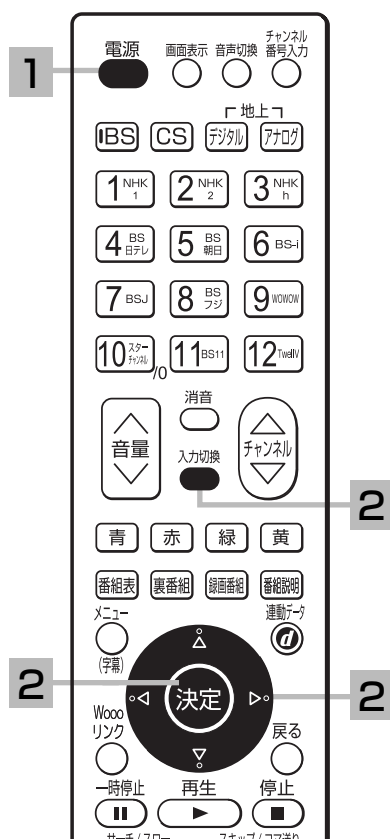
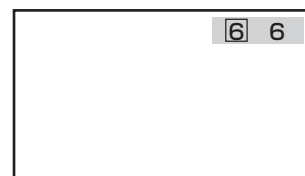
他の機器の映像を楽しむ

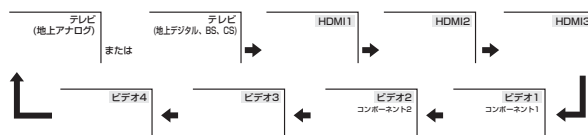
ビデオなどの映像を見る

準 備

お手持ちのビデオを本機の入力端子に接続します。
接続方法については、別冊の取扱説明書 (①準備編 45) をご覧ください。

1 電源ボタンを押す

前に見ていたチャンネルが現れます。
（前にビデオを見ていたときは、ビデオ 1 などのビデオ画面になります。）

6 6

2 入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切り換わります。（お買い上げ時）
お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。

選択画面

- 選択画面が表示されているときは、 でビデオ入力を選択することもできます。このときは、決定ボタンを押すとすぐに選択できます。
- 本体で操作する場合は、選択画面は表示されません。また、切り換え順序が異なります。 39

3 ビデオを再生する

メ モ

ビデオの再生中にテレビを見るには
途中でテレビを見るときは、入力切換ボタンまたは、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

ビデオ 1、2 について
ビデオ 1、2 入力端子はコンポーネント映像信号の入力端子（D4 映像端子）です。D1 ～ D4 映像のいずれかの出力端子のある映像機器を接続します。
D4 映像端子に接続すると「コンポーネント 1」の表示がでます。(①準備編 46 , 51 , 54)

HDMI1、2、3 について
DVI 信号を入力すると「DVI1」または「DVI2」、「DVI3」の表示がでます。(①準備編 48)

入力スキップ設定について
ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛び越し（スキップ）させることができます。(①準備編 129)

ビデオ入力表示の書き換えについて
接続する外部機器に合わせて HDMI 入力やビデオ入力の表示を書き換えることができます。(①準備編 131)

ディテールについて
映像がギラギラしていたり、ノイズが目立つ場合は、「映像」設定で「ディテール」を「切」にしてご覧ください。 114

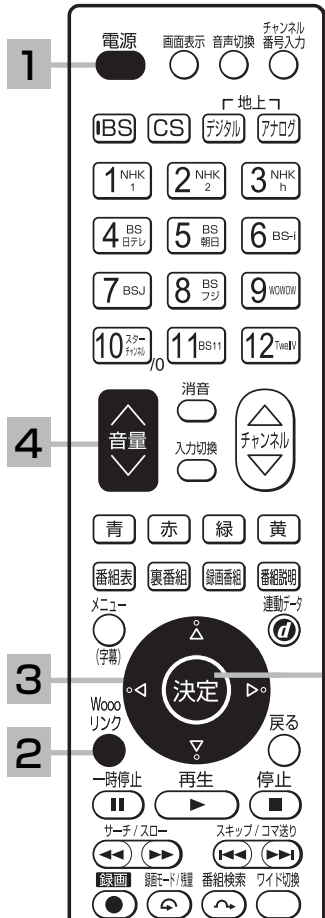
Wooo リンクで外部機器を操作したいとき

Wooo リンク対応機器を接続することにより、外部機器と連携した操作が可能です。
Wooo リンクに対応した AV アンプまたはレコーダーを使用することにより、本機のリモコンで操作することができます。

準 備

① Wooo リンク対応機器と接続する (①準備編 49)
② Wooo リンクを設定する (①準備編 128)

お知らせ

- Wooo リンクは、HDMI-CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール方式を使用しています。
- 対応機器一覧に記載の接続機器で動作確認を行っています。107
- シアターモード時はヘッドホンから音声は出力されません。ヘッドホンを使用する際は、AV アンプ側のヘッドホン端子をご使用ください。
- メニュー「光デジタル音声出力」を「予約連動」にすると 135 、シアターモード時に AV アンプから録画したチャンネルの音声が出ます。

AV アンプの連携動作

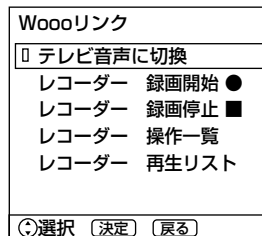
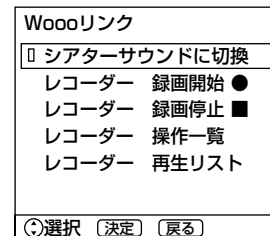
ワンタッチで AV アンプの音に切り換えて、音量を調節することができます。

1 電源ボタンを押す

テレビの電源が入ります。

- テレビ電源オン時に、テレビまたはシアターモードにするか設定できます。
  メニュー「Wooo リンク設定」－「音声出力設定」(①準備編 128)
  「アンプ」に設定した場合、AV アンプの電源も入ります。

2 Wooo リンクボタンを押す

現在の設定のモードにより、図のように表示されます。

現在の設定が
シアターモードの場合

現在の設定が
テレビモードの場合

3 ○で「シアターサウンドに切換」または「テレビ音声に切換」を選び、決定ボタンを押す

- シアターモードにするとテレビのスピーカーの音声が消え、AV アンプの電源が入ります。

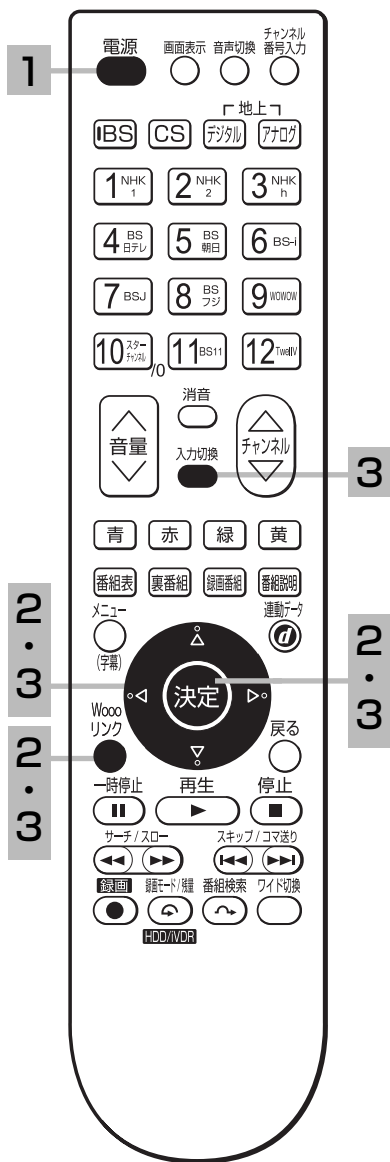
4 音量を調節する

シアターモードにすると、本機のリモコンで AV アンプ側の音量を調節できます。

他の機器の映像を楽しむ

Wooo リンクで外部機器を操作したいとき

レコーダーの連携動作

見ている番組をレコーダーに録画したり、レコーダーのメニューを操作したりすることができます。

1 電源ボタンを押す

テレビの電源が入ります。

2 見ている番組をレコーダーに録画する

① Wooo リンクボタンを押す

接続された機器によって、図のように表示されます。

日立製の場合

パナソニック製の場合

② で「レコーダー　録画開始●」を選び、決定ボタンを押す

レコーダーの電源が「切」の場合は、自動的に「入」になり、レコーダーの録画が開始されます。

③録画を停止する場合は、で「レコーダー　録画停止■」を選び、決定ボタンを押す

- ●本機で視聴している地上アナログ、地上デジタル、BS・CS デジタル放送の番組を録画することができます。日立製レコーダーは地上アナログの録画はできません。
- ●レコーダーの状態によっては、録画ができない場合があります。録画状態はレコーダーにて確認してください。

3 レコーダーのメニューを操作する

■日立製 DVD レコーダーの場合

①入力切換ボタンを押して、機器が接続された HDMI 入力を選ぶ

レコーダーの電源が「切」の場合は、自動的に「入」になります。

② Wooo リンクボタンを押す

③ で「レコーダー　操作一覧」または「レコーダー　再生リスト」を選び、決定ボタンを押す

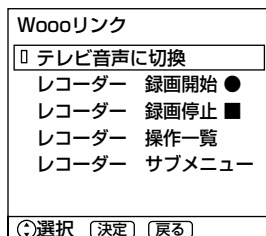
、決定ボタンでレコーダーの画面に従い操作します。

3 レコーダーのメニューを操作する（つづき）

■パナソニック製または日立製ブルーレイディスクレコーダーの場合

① Wooo リンクボタンを押す

Woooリンク
- テレビ音声に切換
- レコーダー　録画開始 ●
- レコーダー　録画停止 ■
- レコーダー　操作一覧
- レコーダー　サブメニュー

選択　決定　戻る

② で「レコーダー　操作一覧」を選び、決定ボタンを押す

レコーダーの電源が「切」の場合は自動的に「入」になります。

、決定ボタンでレコーダーの画面に従い操作します。

●「レコーダー　サブメニュー」は、機器が接続された HDMI 入力を選んだ時に有効になります。

その他の連携動作について

■ TV 電源「入」のときにレコーダーの再生操作をすると自動的にビデオ入力に切り換わります。
入力切換で HDMI に切り換えると、レコーダーの電源が自動的に入ります。
（対応機器：日立製 Wooo リンク対応レコーダー）
準備：メニュー「Wooo リンク設定」-「Wooo リンク制御」を「する」にする。(①準備編 128)

■レコーダーの再生操作をすると、本機の電源が自動的に入り、ビデオ入力に切り換わります。
準備：メニュー「Wooo リンク設定」-「TV 連動オン設定」を「する」にする。(①準備編 128)

■本機の電源を「切」にすると、外部機器の電源も「切」にできます。
準備：メニュー「Wooo リンク設定」-「システムオフ設定」を「する」にする。(①準備編 128)

■シアターモードにすると、地上デジタルまたは、BS・CS デジタル放送を視聴時（HDD/iVDR 再生時含む）に放送ジャンルに連動して AV アンプの音声モードが自動的に切り換わります。
（対応機器：ヤマハ製 YSP-3000）
準備：メニュー「Wooo リンク設定」－「オートサラウンド切換」を「する」に設定する。

■本機のリモコンでレコーダーの「再生」「停止」「一時停止」「サーチ / スロー」「スキップ / コマ送り」の操作を行うことができます。
（対応機器：日立製 Wooo リンク対応レコーダー）

対応機器一覧

AV アンプ / ホームシアターシステム	：ヤマハ製	YSP-4000、YSP-3000、YSP-600、DSP-AX863/763
	パナソニック製	HDMI ケーブルによる機器コントロール機能を搭載した機器
DVD レコーダー	：日立製	DV-DH500H、DV-DH500VH、DV-DH250VH
	パナソニック製	HDMI ケーブルによる機器コントロール機能を搭載した機器
ブルーレイディスクレコーダー	：日立製	DV-BH250
	パナソニック製	HDMI ケーブルによる機器コントロール機能を搭載した機器

●動作確認できている Wooo リンク対応機器の最新情報については下記 URL をご覧ください。
http://av.hitachi.co.jp/tv/support/check/index.html

お知らせ

●本機で操作できる AV アンプとレコーダーは各 1 台です。複数の同一機器が接続された場合は、番号の小さい HDMI 入力端子に接続された機器が操作対象になります。
●対応機器一覧記載の機器以外の機器を接続した場合は、一部の連携動作ができない場合があります。
● Wooo リンクをご使用になるには、接続したレコーダー側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタルカメラの画像を見る

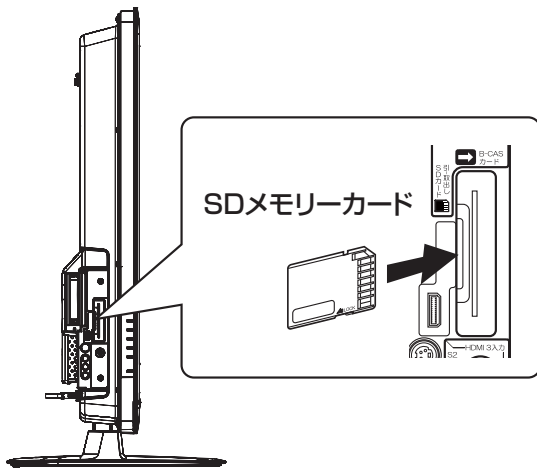
本機は、デジタルカメラで SD メモリーカードに記録した静止画像を再生して、テレビ画面でご覧になることができます。(この時、音声は出力されません。)

お守りください

SD メモリーカード(またはマルチメディアカード)以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

SD メモリーカードを入れる

1 SD メモリーカードを挿入する

SD メモリーカードには裏表があります。裏面を本体の前面側に向けて、まっすぐ奥まで差し込んでください。
「カードを挿入してください」メッセージが出る場合は、再度確実に入れ直してください。

SD メモリーカードの抜きかた

SD メモリーカードの抜きかた

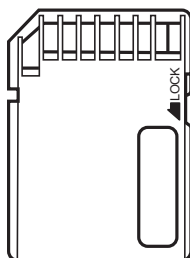
挿入されている SD メモリーカードを引いて取り出します。

お知らせ

SD メモリーカードについて

●ＳＤメモリーカード（SD™）は、著作権保護機能を内蔵したほぼ切手サイズの小型メモリーカードです。

表面

裏面

●マルチメディアカード（MultiMediaCard™）との上位互換があるため、本機では SD メモリーカードと同様にマルチメディアカードもご使用になれます。
●メモリーカードに記録されている容量によっては記録されている画像をすべてご覧になれない場合があります。
● SD メモリーカードまたはマルチメディアカードによっては、本機で動作しない場合があります。
●本機は、2GB までの SD メモリカードおよび 8GB の SDHC メモリーカードの動作の確認を行っています。

お守りください

SD メモリーカードの取り扱いについて

●メモリーカードは精密機器です。曲げたり、無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
●メモリーカードの金属部（電極）に直接触れたり、汚れをつけたりしないでください。
●メモリーカードを加工したり、分解したりしないでください。
●メモリーカードに水をかけたり、高温多湿の場所、または腐食性のある環境でのご使用・保管は避けてください。
●メモリーカードの持ち運びや保管時は、静電気や電気的ノイズの影響を受けないように注意してください。静電気や電気的ノイズの影響を受けると、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。
●メモリーカードの画像を見ているときは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

写真を見る

本機ではデジタルカメラなどで記録した画像データを表示することができます。
表示できる画像データは、DCF 規格の画像データです。

お知らせ

- 水平方向の画素数が 3072 画素、垂直方向の画素数が 2304 画素をこえる画像は表示することができません。圧縮率の高い画像では、この画素範囲内でも表示できないことがあります。
- 表示できる画像データは 999 個までです。
- DCF(Design rule for Camera File system) とは、デジタルカメラの統一フォーマットとして制定された画像ファイルフォーマットです。DCF 対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。
- サムネイルがない画像データはサムネイルが表示されません。
- パソコンなどで編集した画像データや画像データの種類によっては表示されないことがあります。
- 大切なデータは、バックアップを取って置くことをおすすめします。
- 本機能を私的な目的以外でご利用にならないでください。著作権法上違反になる場合があります。
- 写真を見ているときに予約録画が始まった場合、写真画面を終了し放送画面に戻ります。

1 メニューボタンを押し、(上下)で「写真を見る」を選び、決定ボタンを押す

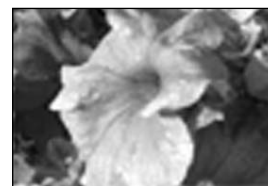
写真を見る画面で画像データのサムネイル一覧が表示されます。

「カードを挿入してください」とメッセージが表示された場合は、メモリーカードが挿入されていることを確認してください。

2 (上下左右)でサムネイルを選び、決定ボタンを押す

選択したサムネイルが 1 画面表示されます。

- 画像データのサムネイルを最大 9 個表示します。10 枚以上の画像データが SD メモリーカードに登録されているときは、下端から(下)ボタンで表示送りすることができます。
- [黄]ボタンを押すごとに、90 度ずつ時計まわりに回転します。
- サムネイルを選択して[赤]ボタンを押すと、スキップ設定がされます。スキップ設定された画像データはスライドショーでは表示されません。
- 数字ボタンで 3 桁の数字を入力すると、指定したサムネイルを選択することができます。12 枚目を選択するときは、[1]、[2]と押します。総数が 100 枚以上のときは、[10/0]、[1]、[2]のように 3 桁で入力します。

3 戻るボタンを押す

写真を見る画面に戻ります。

4 戻るボタンを押して、メニューを消す

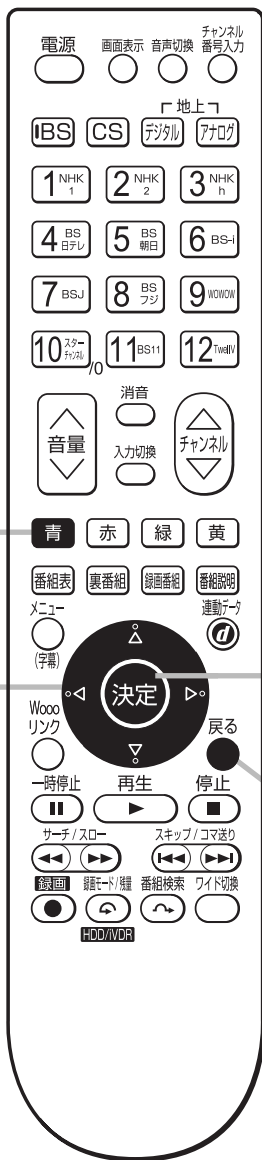
写真を見る画面を終了し、放送画面に戻ります。

他の機器の映像を楽しむ

デジタルカメラの画像を見る

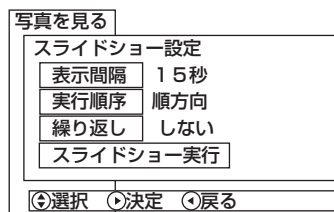
スライドショーを表示する

画像データを自動的に切り換えて表示することができます。

写真を見る 109 を表示させ、スライドショーを開始したいサムネイルを または数字ボタンで選びます。

1 青 ボタンを押す

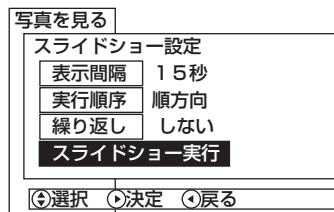
スライドショー設定画面が表示されます。

2 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

写真を見る
スライドショー設定
表示間隔 15秒
実行順序 順方向
繰り返し しない
スライドショー実行
選択 決定 戻る

設定項目	→	設定のポイント
表示間隔（秒）	5/10/15/20/25/30/35/40/45/50/55/60	画像を表示し終わってから次の画像を表示し始めるまでの時間を指定することができます。
実行順序	順方向 / 逆方向	サムネイルに表示されている番号が大きくなる方向に切り換えるときは、順方向に設定します。
繰り返し	する / しない	「する」に設定すると、最後の画像データを表示した後は、自動的に最初の画像データに戻って表示が続けられます。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

4 で「スライドショー実行」選び、決定ボタンを押す

スライドショー（自動再生）が開始されます。

スライドショー表示中に決定ボタンを押すと、スライドショーを一時停止することができます。もう一度決定ボタンを押すと、スライドショーを再開します。
また、一時停止が 30 秒を超えると自動的にスライドショーを再開します。

写真を見る
スライドショー設定
表示間隔 15秒
実行順序 順方向
繰り返し しない
スライドショー実行
選択 決定 戻る

5 戻るボタンを押す

スライドショーを終了し写真を見る画面に戻ります。

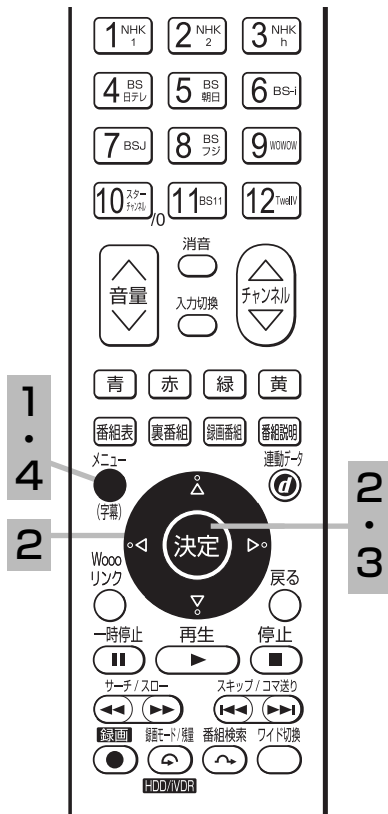
お知らせ

- 緑 ボタンを押すとスライドショーで表示する範囲の指定ができます。
- 緑 ボタンで設定した表示する範囲の指定は、スライドショーを終了すると解除されます。
- スキップと回転の設定内容は、記録されている内容が異なる SD メモリーカードを挿入するまで保存されます。

いろいろな調節・設定・確認をしたいとき

映像をお好みに合わせて設定する

映像の自動調整モードを選ぶ

設置場所や映像内容に合わせて「スーパー」、「スタンダード」、「リビング」「シネマティック」の4つからお好みの映像を選ぶことができます。

1 **メニューボタンを押す**

2 **で「映像モード」を選び、決定ボタンを押し、で設定する**

モードは下図のように切り換わります。

スーパー / スタンダード / リビング / シネマティック

映像モード

スーパー	スタンダード	リビング	シネマティック

設定

3 **設定が終了したら決定ボタンを押す**

4 **メニューボタンを押して、メニューを消す**

メ モ

映像モードは、メニューの「各種設定」－「映像設定」設定画面で選ぶこともできます。113

各機能について

スーパー

●鮮明でコントラストのある画像に調整します。
●明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。

スタンダード

●標準的な画像です。
●ご家庭で通常のテレビ番組、DVD 再生などを楽しむときに適したモードです。

リビング

●比較的明るいリビングでテレビ番組、DVD 再生などを楽しむときに適したモードです。

シネマティック

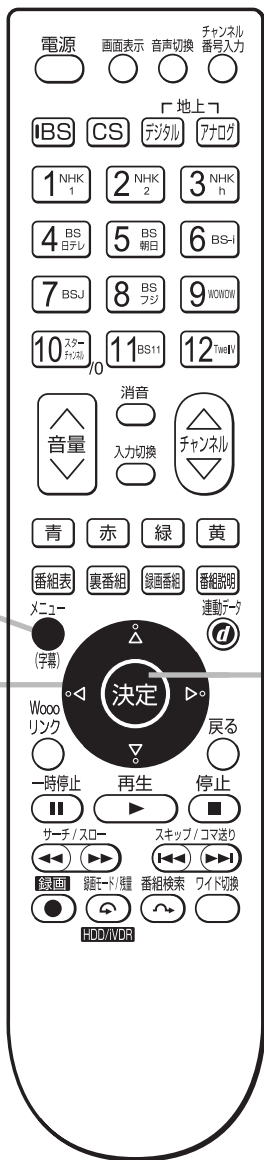
● LTI、CTI など、お好みに合わせてより細かな設定ができます。114 115
●映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、電球色などの落ちついた照明を採用したリビングなどでの長時間視聴に適したモードです。

メ モ

映像モードについて

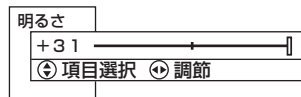
●映像モードは地上アナログ放送やデジタル放送 (HDD/iVDR 再生含む)、HDMI1 ～ HDMI3、ビデオ 1 ～ビデオ 4 の各入力モードごとに設定することができます。
●各映像モードについて、明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス、色温度は、お好みの画像に設定できます。113
●ご家庭でご覧になる場合は、「スタンダード」をお勧めします。
●映像モードを切り換えるとき、一時画面が暗くなる場合があります。これは、映像設定内容が変化したときに映像の乱れなどを見えにくくするためのものです。

明るさ、黒レベルなどの設定

映像モードごとにお好みに合わせて明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス、色温度の設定ができます。

10の操作で「各種設定」の「映像設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 ◯で設定したい項目を選び、◯または決定ボタンを押し、◯または◯で設定する

（例）明るさを調節する場合

◯で調節します。

各種設定
映像設定
音声設定
画面設定
初期設定
各種情報

ページ1／3
映像モード ：シネマティック
明るさ ：+31
黒レベル ：－10
色の濃さ ：－ 2
色あい ： 0
シャープネス：＋ 7
色温度 ：高
▽標準に戻す

映像設定項目	◯ ➡ ◯または◯		設定のポイント
映像モード	スーパー / スタンダード / リビング / シネマティック		設置場所や映像内容に合わせて設定します。
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく。
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく。
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの濃さに。（ややうす目の方が自然です。）
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように。
シャープネス	やわらかな画質になる	くっきりとした画質になる	ふだんは中央で柔らかい感じにしたいときには一側へ。
色温度	高 / 高中 / 中 / 中低 / 低		室内照明などによる影響から色調を補正するときに設定します。
標準に戻す	はい / いいえ		「はい」を選び、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

●各映像設定項目は、地上アナログ放送やデジタル放送 (HDD/iVDR 再生含む)、HDMI1 ～ HDMI3、ビデオ 1 ～ビデオ 4 の各入力モードごとに設定することができます。
●明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス、色温度は映像モードごとに設定することができます。

2 設定が終了したら決定ボタンを押す

●他の項目を設定するときは、手順 1、2 をくり返します。
●設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

3 メニューボタンを押して、メニューを消す

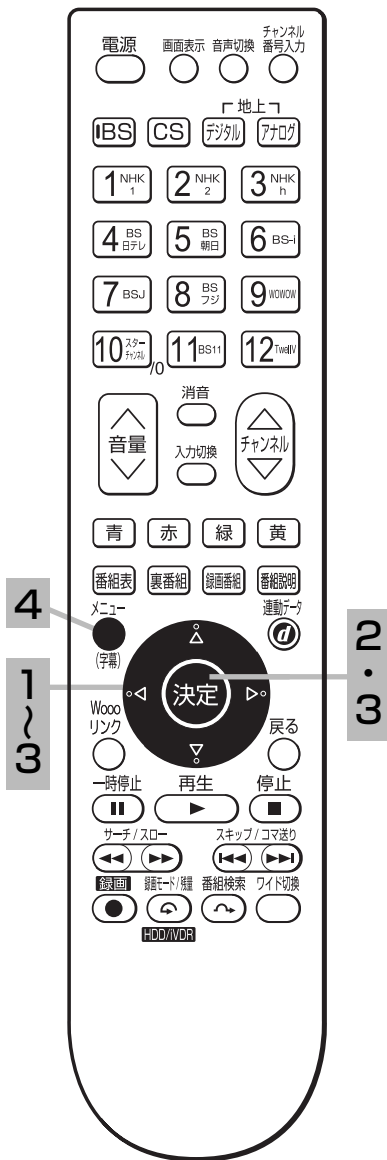
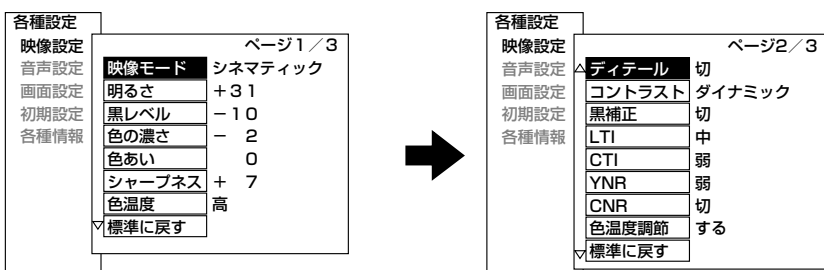
お知らせ

明るさは、調節値が＋ 31 のときに◯ボタンを押し続けると、＋ 32 ～＋ 40 の範囲まで調節できるようになります。(このとき表示は赤紫色に変わります。) 暗い映像ソースをご覧になる場合に有効ですが、映像の明るい部分では階調が損なわれることがあります。通常、明るさは＋ 31 までの範囲内でお使いください。

映像をお好みに合わせて設定する

ディテール、コントラストなどの設定

お好みに合わせてディテール、コントラスト、色温度調節の設定ができます。さらに映像モードで「シネマティック」を選んでいるときは、黒補正、LTI、CTI、YNR、CNR の設定ができます。

10 の操作で「各種設定」の「映像設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「映像設定」画面の２ページ目を表示させる

2 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

（例）コントラストを設定する場合
で設定します。

映像設定 項目		設定のポイント
ディテール	切 / 入	ビデオ入力またはデジタル放送で映像がギラギラしたり、ノイズが目立つ場合は「切」にします。
コントラスト	リニア / ダイナミック	「リニア」：映像の階調をできるだけ忠実に再現します。「ダイナミック」：映像の階調にメリハリを付けて、コントラスト感を向上させます。
黒補正	切 / 弱 / 中 / 強	黒レベル補正を調節できます。
LTI	切 / 弱 / 中 / 強	輝度信号の鮮鋭度を調節できます。
CTI	切 / 弱 / 中 / 強	色信号の鮮鋭度を調節できます。
YNR	切 / 弱 / 強	輝度信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。
CNR	切 / 弱 / 強	色信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。
色温度調節	する / しない	色温度調節機能のする / しないを選択します。「する」のときはお好みに合わせて色温度を調節できます。115
標準に戻す	はい / いいえ	「はい」を選び、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

- 地上アナログ放送やデジタル放送 (HDD/iVDR 再生含む)、HDMI1 〜 HDMI3、ビデオ 1 〜ビデオ 4 の各入力モードごとに設定することができます。
- ディテール、コントラスト、色温度調節は、映像モードごとに設定できます。
- 黒補正、LTI、CTI、YNR、CNR は、映像モードの設定が「シネマティック」のときに設定できます。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

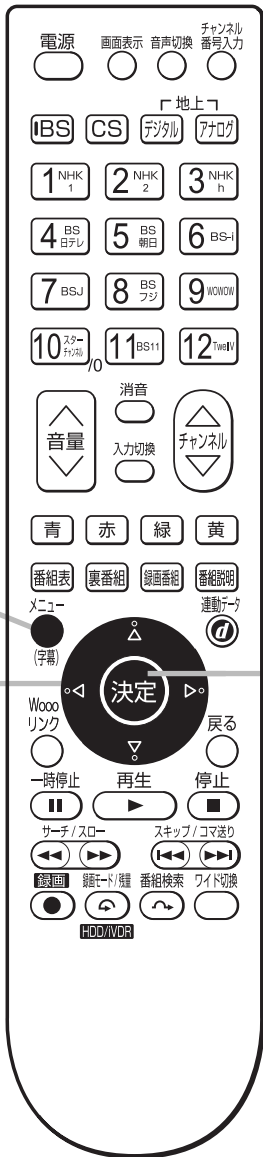
お知らせ

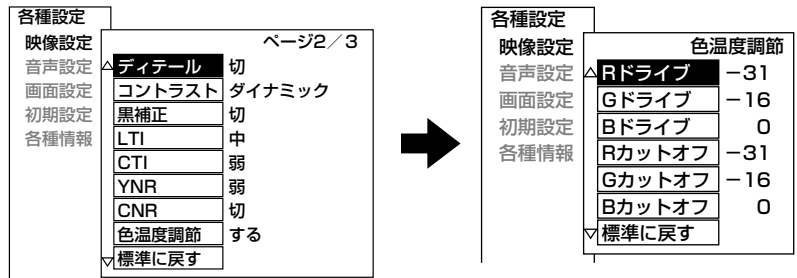
ディテールについて

- 地上アナログ放送をご覧になっているときは設定できません。

色温度の調節

色温度調節「する」114のときは、お好みに合わせて色温度を調節することができます。

10の操作で「各種設定」の「映像設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「色温度調節」画面を表示させる

「色温度調節」画面は、2ページ目と3ページ目の間に表示されます。

2 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押し、で調節する

（例）Rドライブを調節する場合

で調節します。

映像設定 項目	→ または			調節のポイント
Rドライブ	明るい部分の赤がおさえられる	−62～0	調節しない	明るい部分の色調をお好みに合わせて調節します。
Gドライブ	明るい部分の緑がおさえられる	−62～0	調節しない	
Bドライブ	明るい部分の青がおさえられる	−62～0	調節しない	
Rカットオフ	暗い部分の赤がおさえられる	−31～+31	暗い部分が赤っぽくなる	暗い部分の色調をお好みに合わせて調節します。
Gカットオフ	暗い部分の緑がおさえられる	−31～+31	暗い部分が緑っぽくなる	
Bカットオフ	暗い部分の青がおさえられる	−31～+31	暗い部分が青っぽくなる	
標準に戻す	はい／いいえ			「はい」を選び、決定ボタンを押すと、調節量が0に戻ります。

色温度調節は 113 で選んだ色温度「高、高中、中、中低、低」のモード毎に調節できます。

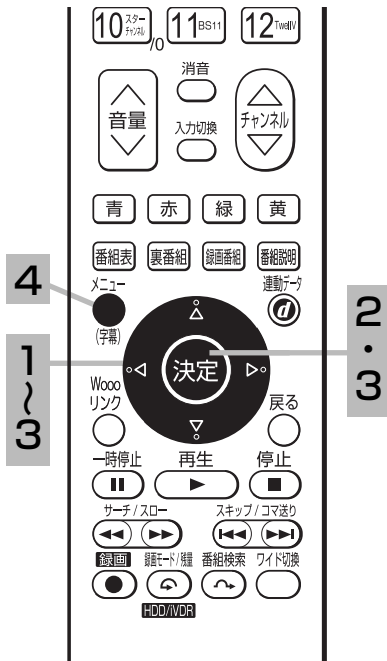
3 設定が終了したら決定ボタンを押す

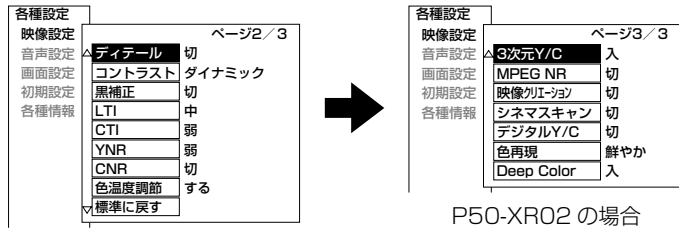
設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

映像をお好みに合わせて設定する

3 次元 Y/C、映像クリエーションなどの設定

ご覧になる映像内容に合わせて、お好みの映像に設定することができます。

10の操作で「各種設定」の「映像設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「映像設定」画面の 3 ページ目を表示させる

P50-XR02 の場合

色温度調節を「する」に設定しているとき 114、映像設定の 3 ページ目は、色温度調節画面の次に表示されます。

2 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押し、で設定する

（例）3 次元 Y/C を設定する場合

で設定します。

3次元Y/C
■ 入
□ 切
設定

映像設定 項目	→	調節のポイント
3 次元 Y/C	入 / 切	ビデオなどの映像が自然に見えないときは「切」にします。通常は「入」でご使用ください。
MPEG NR	切 / 弱 / 強	デジタル放送特有のブロックノイズ（モザイク状のノイズ）などを軽減することができます。 強くするとノイズが目立たなくなりますが、鮮鋭度が低下します。
フィルムシアター（P37/42/50-HR02 のみ）	入 / 切	「入」：映画フィルム素材を自動的に検知して、元のフィルム映像に忠実に再現します。 「切」：映像の切り換わり時が自然に見えないときは「切」にします。
映像クリエーション（P50-XR02 のみ）	切 / なめらかシネマ / フィルムシアター	「なめらかシネマ」：映画フィルム素材を自動的に検知して、補間処理によりなめらかで美しいフィルム映像を再現します。 「フィルムシアター」：映画フィルム素材を自動的に検知して、元のフィルム映像に忠実に再現します。 「切」：映像の切り換わり時が自然に見えないときは「切」にします。
シネマスキャン（P50-XR02 のみ）	入 / 切	「入」に設定すると、24P 出力対応機器からの映像を忠実に再現します。HDMI1 ～ 3 入力時のみ選択できます。
デジタル Y/C（P50-XR02 のみ）	切 / 弱 / 強	映像のドット状ノイズや色のにじみを軽減することができます。映像により効果が少ない場合があります。
色再現	鮮やか / リアル	「鮮やか」：色を鮮やかに再現する広色域モードです。 「リアル」：xvYCC 規格または HDTV 規格に近づけた高忠実色域モードです。xvYCC 規格対応機器と接続すると、目で見た色に近い色彩を忠実に再現できます。（HDMI/ コンポーネント入力時） お買い上げ時は「鮮やか」に設定されています。
Deep Color（P50-XR02 のみ）	入 / 切	「入」に設定すると、Deep Color 対応機器から出力される豊かな色彩でなめらかな階調を再現します。 HDMI1 ～ 3 入力時のみ選択できます。

- MPEG NR、フィルムシアター、映像クリエーション、デジタル Y/C、色再現は、地上アナログ放送やデジタル放送（HDD/iVDR 再生含む)、HDMI1 ～ HDMI3、ビデオ 1 ～ビデオ 4 の各入力モードごとに設定することができます。
- Deep Color は、HDMI1 ～ 3 の各入力モードごとに設定することができます。
- 色再現は、映像モードごとに設定できます。

3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

各設定内容は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

メモ

3 次元 Y/C 設定は、地上アナログ放送、外部入力（コンポジット入力）のときのみ設定できます。

お知らせ

なめらかシネマ / フィルムシアターモードについて
映像内容により不自然な映像に見える場合があります。
- 映画の字幕や映像が切り換わるときに細かい横スジ状に見える。
- CM やアニメーションなどのシーンの切り換わりで、映像が細かい横スジ状に見える。
- テロップや字幕が流れたときに、文字がギザギザに見える。
- ビデオ入力に外部機器を接続してご覧の場合、外部機器のメニューなどの画面表示が細かい横スジ状に見えたりする。

これらの現象は映像の製作方法によるもので、故障ではありません。気になる場合は、「切」でご覧ください。
なお、ワイドモードの設定により、映像のシーンに効果の違いが出る場合があります。
また、映像のシーンによっては効果がない場合もあります。

Deep Color について
- Deep Color「入」時は、下記の設定ができません。
  ・色温度・コントラスト・黒補正・色温度調節
- Deep Color 設定を「切」→「入」にすると、ワイドモードは「フル HD」に切り換わります。（1080i/1080p 映像信号の場合）リモコンの「ワイド切換」ボタンで元のワイドモードに戻すこともできます。

お知らせ

なめらかシネマモードでテレビを視聴中に、メニュー等の表示やメッセージ表示を行った場合、表示中は一時的になめらかシネマモードをオフして、フィルムシアターモードに切り換わります。

映像特殊設定について

店頭展示用の設定です。通常は「しない」でお使いください。

10 の操作で「各種設定」の「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 （上下ボタン）で「機能設定」を選び、（右ボタン）または決定ボタンを押す

各種設定
- 映像設定
- 音声設定
- 画面設定
- 初期設定
- 各種情報

- 受信設定 〉
- 通信設定 〉
- 外部機器接続設定 〉
- 機能設定 〉
- ディスク設定 〉
- 時刻設定 〉
- 設定の初期化 〉

2 （上下ボタン）で「映像特殊設定」を選び、（右ボタン）または決定ボタンを押す

3 （上下ボタン）でモードを選ぶ

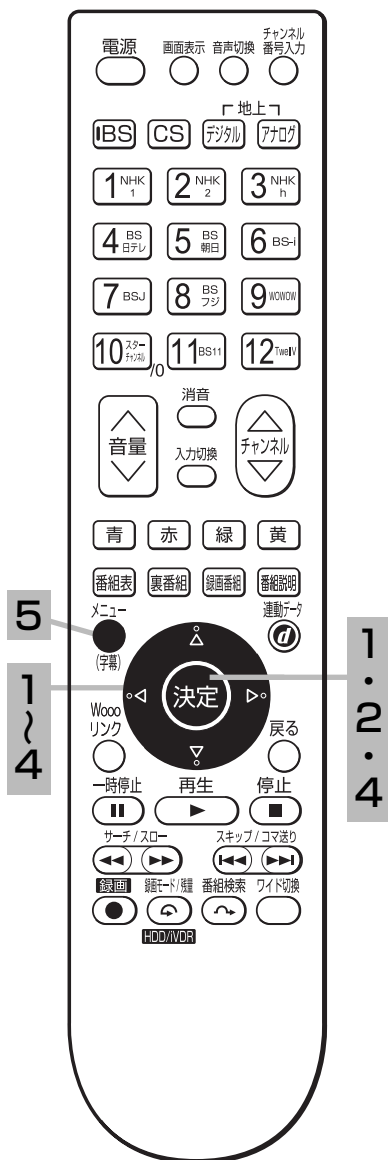
P50-XR02 の場合

（上下ボタン）で下記モードが選択できます。

「しない」	：通常モード 通常はこのモードでお使いください。
「固定」	：映像設定の固定モード 映像設定の操作はできません。
「デモ 1」	：デモモード（P37-HR02/P42-HR02/P50-HR02 のみ）
「デモ 1 ～デモ 5」	：デモモード（P50-XR02 のみ）

●デモ機能は、店頭展示用のため予告なく変更することがあります。

4 設定が終了したら（左ボタン）または決定ボタンを押す

5 メニューボタンを押して、メニューを消す

音声をお好みに合わせて設定する

音声モード、高音、低音などの設定

お好みに合わせて音声モード、高音、低音、バランス、サラウンド、バスブースト、クリアボイスの設定ができます。

10の操作で「各種設定」の「音声設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

メ モ

音声モードのお買い上げ時の設定について

●ミュージックは高音、低音を強調した設定になっており、音楽放送に適しています。
●シアターは迫力と広がり効果のある設定になっており、映画放送に適しています。
●スポーツは音場の広がり効果のある設定になっており、スポーツ番組に適しています。

音声モードについて

●音声モードは、地上アナログ放送、デジタル放送（HDD/iVDR 再生含む）ごとに設定することができます。
●各音声モードについて、高音、低音、サラウンド、バスブースト、クリアボイスはお好みの音声に設定できます。
●「オート」設定時は、デジタル放送の放送内容により自動的に音声モードが選択されます。この時は、高音、低音、バランス、サラウンド、バスブースト、クリアボイスは設定できません。
●「オート」設定時は、自動的に音声モードが選択されますが、このとき一時的に音声にミュートがかかります。
●アナログ放送、外部入力視聴時は「オート」には切り換えできません。

音声設定の効果について

●バスブースト

低音を強調することにより、映画の臨場感、音楽のハーモニー感などが向上します。

●クリアボイス

音声の明瞭度を向上することにより、ニュースなどの話し声が更に聞き取りやすくなります。

1

音声設定 項目	→		設定のポイント
音声モード	スタンダード / オート / ミュージック / シアター / スポーツ		映像内容に合わせて設定します。
高　音	高音がおさえられる	高音が強調される	それぞれ－15～＋15までの設定ができます。お好みに合わせて設定してください。一度設定すると、そのまま記憶されます。
低　音	低音がおさえられる	低音が強調される	
バランス	左スピーカーの音が強調される（－）	右スピーカーの音が強調される（＋）	－10～＋10までの設定ができます。お好みに合わせて設定してください。一度設定すると、そのまま記憶されます。
サラウンド	入 / 切		音場を拡大することができます。お好みの設定にします。
バスブースト	入 / 切		低音を強調することができます。お好みの設定にします。
クリアボイス	入 / 切		音声の明瞭度を向上することができます。お好みの設定にします。
標準に戻す	はい / いいえ		「はい」を選び、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

2 設定が終了したら または決定ボタンを押す

他の項目を設定するときは、手順 1、2 をくり返す。

3 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

●高音、低音設定を上げている場合やバスブーストを入に設定している場合、音量が大きいと音声が歪む場合があります。その場合には設定を「切」にしてください。

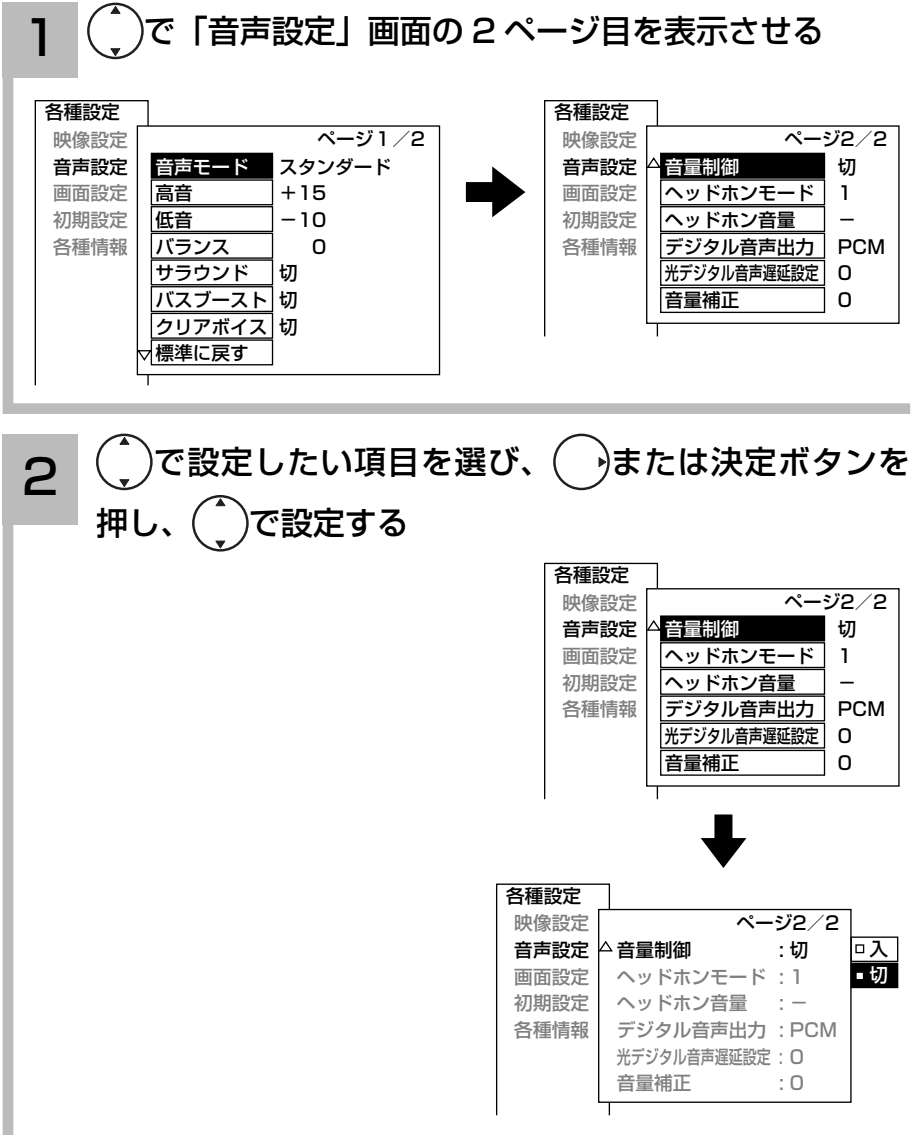
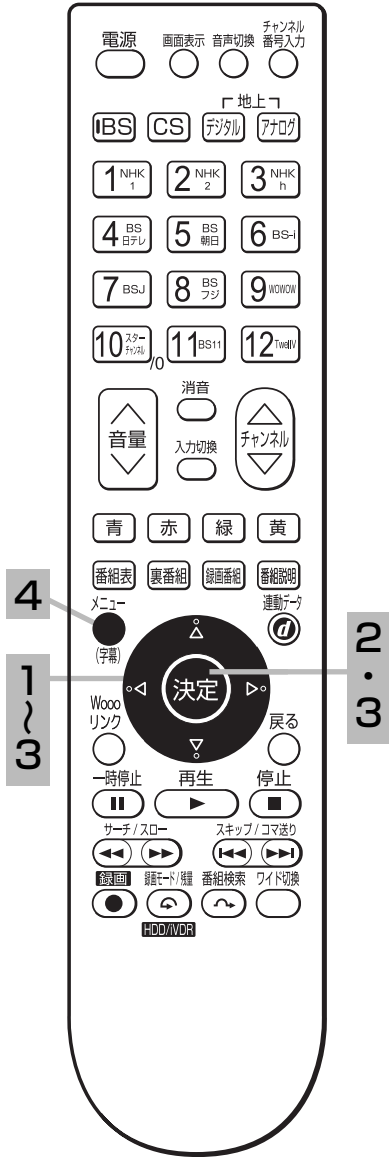
音声をお好みに合わせて設定する

音量制御などの設定

音量制御（音量の自動調節）などの設定ができます。

10の操作で「各種設定」の「音声設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「音声設定」画面の 2 ページ目を表示させる

2 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

メ　モ

●デジタル音声出力の設定について

アナログ放送やビデオ入力をご覧になっているときの光デジタル音声は、「デジタル音声出力」の設定にかかわらず「PCM」を出力します。

●光デジタル音声遅延の設定について

アナログ放送（ビデオ入力含む）およびデジタル放送（再生時含む）ごとに設定することができます。

●音量補正の設定について

アナログ放送やデジタル放送および各入力端子ごとに音量を微調することができます。

2

音声設定項目			設定のポイント
音量制御	入 / 切		「入」にすると、チャンネル間や番組間の音量の差を自動的に調整して聞きやすい音にします。
ヘッドホンモード	1/2		「1」：ヘッドホンをご使用になるとき、スピーカーから音が消えます。 「2」：ヘッドホンをご使用になっても、スピーカーからも音が出ます。
ヘッドホン音量	音量が小さくなる（最小 0）	音量が大きくなる（最大 60）	ヘッドホンモードが「2」のときに、ヘッドホンの音量をお好みの音量に合わせます。
デジタル音声出力	AAC/PCM		光デジタル音声出力フォーマットを設定します。 「AAC」:MPEG-2 AAC対応のオーディオ機器に接続する場合に設定します。 「PCM」:MPEG-2 AAC に対応していないオーディオ機器に接続する場合に設定します。ただし、サンプリングコンバーターを内蔵している必要があります。
光デジタル音声遅延設定	オート /0 ～ 70		光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器と接続する場合に映像に対して音声が進んで聞こえるときに設定します。 「オート」：自動的に調節します。(推奨) 「0～70 (マニュアル)」：「オート」で最適にならない場合に調節します。
音量補正	－ 10 ～ 0 ～ +10		放送や外部機器間の音量レベルに差があるときに設定します。

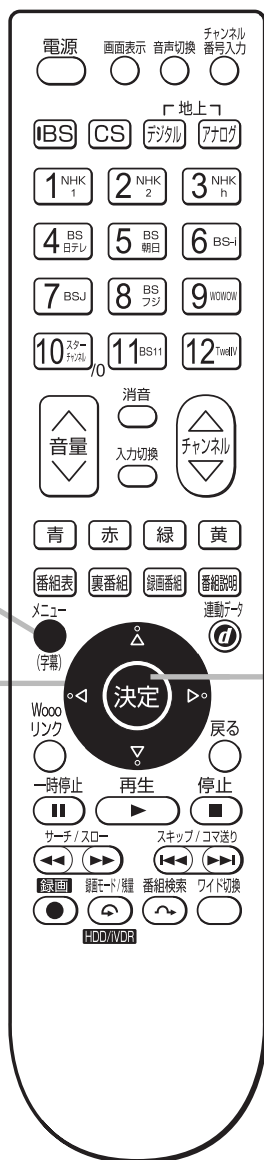
3 設定が終了したら◀または決定ボタンを押す

他の項目を設定するときは、手順 1 、 2 をくり返す。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

ワイド画面を調節する

画面サイズの調節

画面の垂直サイズ、水平サイズを微調することができます。
映画などで上下に黒帯が残る場合や画面の両端に黒帯が見える場合などに、黒帯を少なくすることができます。

10 の操作で「各種設定」の「画面設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「画面サイズ微調」を選び、 または決定ボタンを押す

2 でお好みのサイズに調節する

で画面の垂直サイズを調節できます。
で画面の水平サイズを調節できます。

+10 ＋ 1

垂直画面サイズ　水平画面サイズ

●画面サイズは、ワイドモード毎に調節することができます。
●調節した画面サイズは、電源を切っても記憶されています。

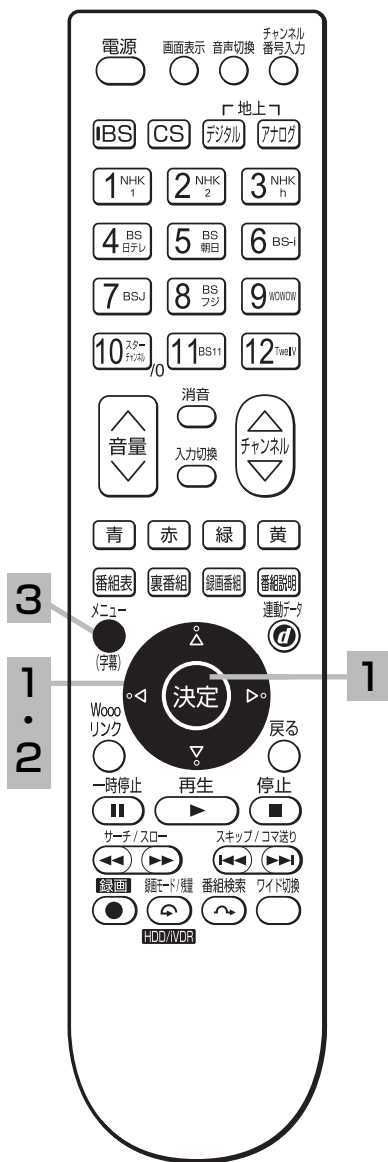
3 設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す

決定ボタンを押すと、前の設定画面に戻すことができます。

お知らせ

デジタル放送 (HDD/iVDR 再生含む) の 1125i　(1080i) ハイビジョン放送やコンポーネント /HDMI 入力端子に入力した 1125i (1080i)、1125p (1080p) 信号を「スタンダード」「フル HD」「ズーム」のワイドモードでご覧になっているときは、垂直画面サイズを＋ 1 まで微調することができます。画面上部の黒帯が気になる場合や、W-VHS ビデオをご覧になる場合は、画面サイズを＋ 1 にします。この画面サイズ＋ 1 は、電源を切ると標準サイズに戻ります。

画面位置の調節

画面を上下左右に移動することができます。
「映画 1」、「映画 2」モード時に字幕が消えてしまうようなときにお使いになると便利です。

10 の操作で「各種設定」の「画面設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「画面位置」を選び、 または決定ボタンを押す

2 でお好みのサイズに調節する

画面位置
+ 9 0
調節

で垂直画面位置が調節できます。
で水平画面位置が調節できます。

垂直画面位置　水平画面位置

垂直画面位置調節の場合

垂直画面位置－５　**垂直画面位置０**　**垂直画面位置＋５**

●画面位置は、ワイドモード毎に調節することができます。
●調節した画面位置は、電源を切っても記憶されています。

3 設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す

決定ボタンを押すと、前の設定画面に戻すことができます。

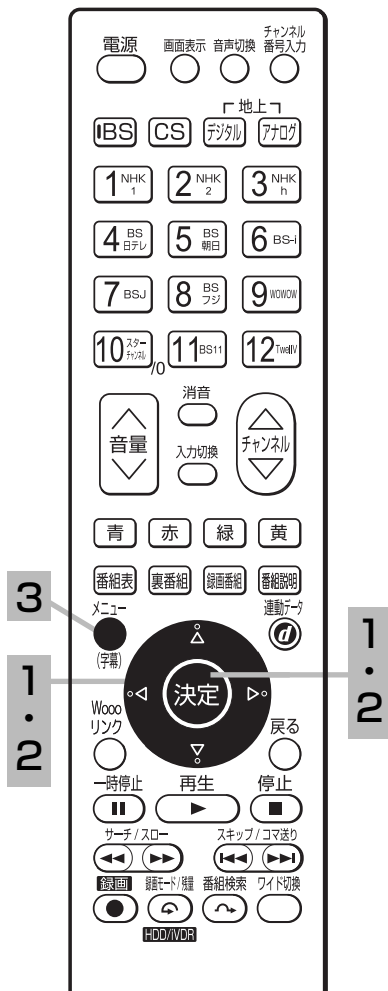
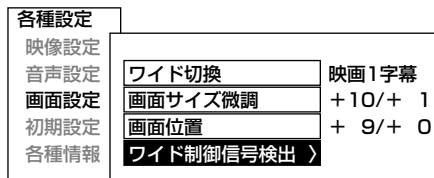
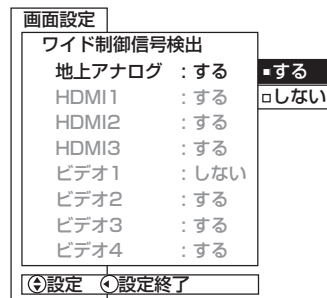
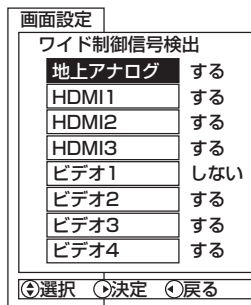
調節・設定・確認

お知らせ

デジタル放送 (HDD/iVDR 再生含む) の 1125i(1080i)、750P(720P) 放送やコンポーネント /HDMI 入力端子に入力した 1125i (1080i)、1125p (1080p)、750P(720P) 信号をご覧になっているとき、ワイドモードが「フル HD」のときは、画面位置の調節はできません。

ワイド画面を調節する

ビデオなどで自動的にワイドモードを切り換えるには

10 の操作で「各種設定」の「画面設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 「ワイド制御信号検出」を選び、または決定ボタンを押す

2 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押す

で「する」または「しない」を選ぶ

設定項目		設定のポイント
地上アナログ	する / しない	「する」：画面サイズの識別信号（ID-1、D4 端子、HDMI 端子）を検出すると画面サイズを自動的に切り換えます。 「しない」：正しく動作しない場合は「しない」にします。
HDMI1	する / しない	
HDMI2	する / しない	
HDMI3	する / しない	
ビデオ 1	する / しない	
ビデオ 2	する / しない	
ビデオ 3	する / しない	
ビデオ 4	する / しない	

3 設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す

または決定ボタンを押すと、前の設定画面に戻すことができます。

メモ

● **ID-1 について**
DVD などの 525i(480i) 信号映像に、アスペクト比制御情報 (ID-1) が付加されている場合、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換える機能です。

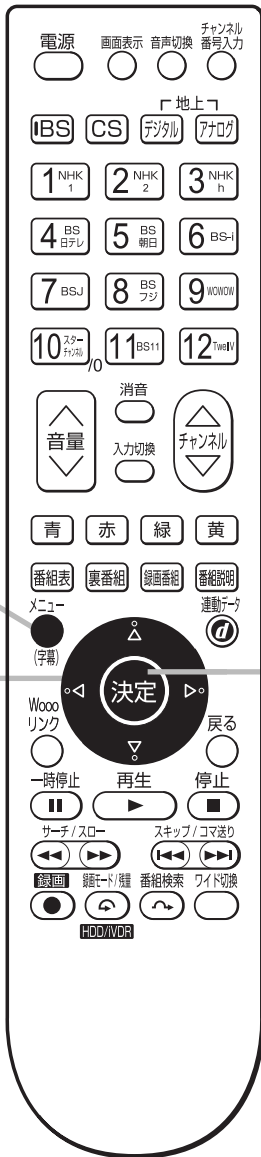
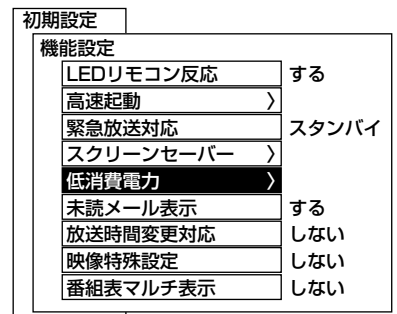
● **D4 端子について**
コンポーネント入力端子 (ビデオ 1) から、D4 端子ケーブルでアスペクト比制御信号が入った 525i(480i)、525p(480p) 映像信号が入力されると、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換える機能です。

● **HDMI 端子について**
HDMI(High Definition Multimedia Interface) または DVI(Digital Visual Interface) 信号のアスペクト比情報を検知すると、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換える機能です。

お知らせ

ワイド制御信号検出を「する」でご使用になる場合、映像の切り換わりなどで一時画面が暗くなる場合がありますが、これは映像の乱れやノイズなどを見えにくくするためのものです。

消費電力を低減する

10の操作で「各種設定」の「初期設定」－「機能設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「低消費電力」を選び、 または決定ボタンを押す

2 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

設定項目		設定のポイント
消費電力	標準 / 低減 (弱) / 低減 (強)	明るさを抑えることにより、消費電力を低減することができます。
ビデオパワーセーブ	する / しない	「する」に設定すると、ビデオ入力信号が無い状態が約 10 秒間続くと、パワーセービングシステムが働き、本機の消費電力を節減することができます。(①準備編 133)
無信号電源オフ	する / しない	「する」に設定すると、地上アナログ放送が終了して映像信号が無くなったときに、約 10 分後に自動的に電源を「切」にします。
無操作電源オフ	する / しない	「する」に設定すると、リモコンや本体操作のない状態が約 3 時間以上続くと、自動的に電源を「切」にします。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

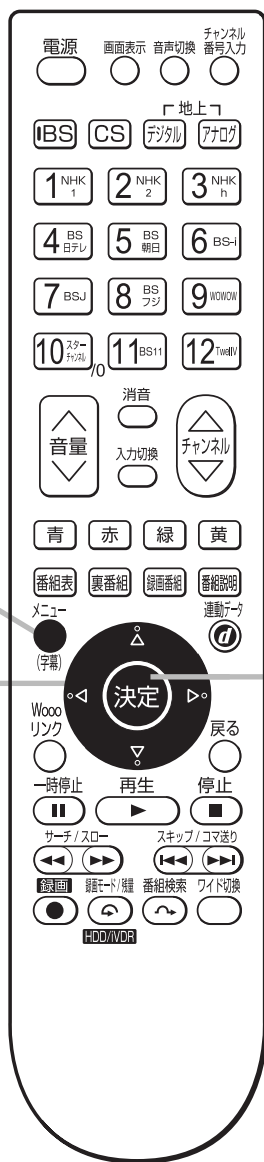
4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

無信号電源オフについて
無信号状態でも映像信号が漏れ込んでいる場合などでは、正しく動作しないことがあります。

調節・設定・確認

オフタイマーで自動的に電源を切る

指定した時間が経つと、自動的に電源を切ることができます。
おやすみのときなどにご利用ください。

1 メニューボタンを押す

2 で「オフタイマー」を選び、決定ボタンを押す

3 でお好みの時間を設定する

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

切 /30 分 /60 分 /90 分 /120 分

●オフタイマーの設定時間は 30 分間隔で最大 120 分までです。
●時間を設定したときからタイマー動作が始まります。

4 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

オフタイマーを確認・変更 / 解除したいとき

① 1 · 2 の操作を行います。
オフタイマーの残量時間が 1 分間隔で確認できます。

オフタイマー動作まで
あと 25分
□変更／解除
■戻る
選択 決定 戻る

②オフタイマーを変更 / 解除するときは、「変更 / 解除」を選択し、 3 の操作で設定時間変更または「切」に設定します。
③ 4 の操作で画面表示を消します。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す

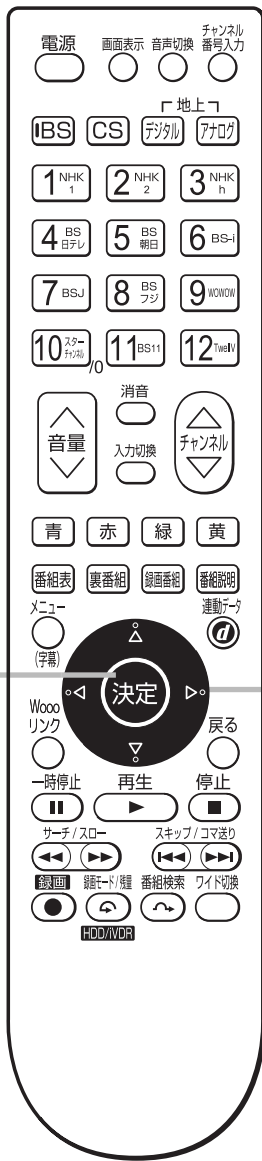
6 電源が切れる

設定した時間になると電源が切れます。

お知らせ

●電源を切るとオフタイマーは解除されます。
●オフタイマーは多少の誤差が生じることがあります。
●オフタイマー動作中に停電になりますと、停電が復帰しても、安全のためテレビはオフになります。

スクリーンセーバーをご使用になるには

データ放送、写真を見る、ゲーム機など長時間同じ画像（動きの少ない画像）をご覧になる、または繰り返し表示させた場合､焼き付き現象が出る場合があります。この場合､このスクリーンセーバーをご使用になると低減することができます。

10の操作で「各種設定」の「初期設定」－「機能設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「スクリーンセーバー」を選び、または決定ボタンを押す

2 シェーディング機能

放送局のロゴ表示などによる焼き付き現象を生じにくくするための機能です。四すみの輝度は中央部より低くなります。

で「シェーディング」を選び、または決定ボタンを押し、で設定する

で下記モードが選択できます。

切 / 入

「切」: シェーディング機能が働きません。
「入」: シェーディング機能が働きます。

3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

（次ページにつづく）

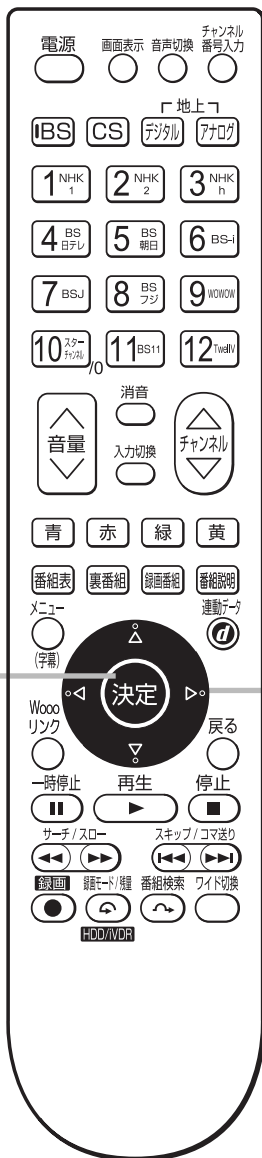
お知らせ

焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する130、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは、完全には消えません。

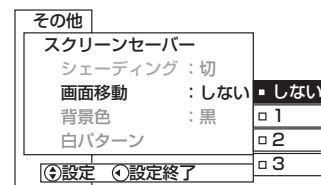
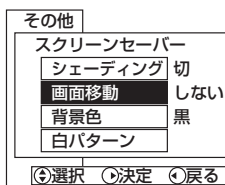
メ　モ

シェーディング機能について

●映像モード (スーパー / スタンダード / リビング / シネマティック) 毎に設定できます。112

●映像設定「色再現」が「リアル」に設定されている場合、HDMI/ コンポーネント入力時は一時的に「シェーディング」機能は「切」になります。116

4 画面移動機能

焼き付き現象を生じにくくするために、画面を 1 画素ずつ移動させせます。
動きの少ない画像のときは「1」を選択してください。
●お買い上げ時は「1」に設定されています。

で設定する

で下記モードが選択できます。

しない/1/2/3

「しない」: 画面移動しない
「1」: 2 分おきに移動する
「2」: 10 分おきに移動する
「3」: 20 分おきに移動する

●ワイドモードが「フル HD」28に設定されているときは、画面移動機能は働きません。

5 設定が終了したら　または決定ボタンを押す

メ　モ

背景色について

「オート 1」:
ノーマルワイドの画面、2 画面の背景を映像部分との明るさの差が少ないグレーにします。また、デジタル放送や 1125i(1080i) コンポーネント入力で、画面の左右に黒い背景がついた 4:3 映像などをご覧のときは、背景色を自動的にグレーにします。

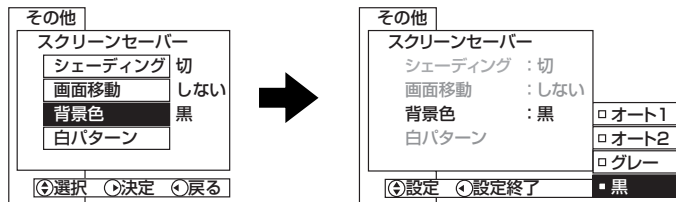
「オート 2」:
「オート 1」よりも効果を大きくしたモードです。画面左右の背景の上部または下部に、放送局のロゴマークなどが表示されている場合でも背景をグレーにします。

「グレー」:
デジタル放送や 1125i(コンポーネントビデオ入力) 時、4:3 映像検出による背景色の自動設定は行ないません。背景色をオリジナルにしてご覧になるときに設定します。

「黒」:
背景色を黒にします。暗い部屋で映像を楽しむときなど背景部分を暗くしてご覧になるときに設定します。

6 ノーマルワイドや２画面の焼き付きが生じにくくする場合

ノーマルワイドでご覧になるときの左右の背景（画像のない部分）や２画面の上下の背景などをご覧になるときの背景の明るさを選択します。
●お買い上げ時は「オート１」に設定されています。

で「背景色」を選び、　または決定ボタンを押し、で設定する

で次のようにモードが切り換わります。

オート１ / オート２ / グレー / 黒

通常は「オート１」または「オート２」でご使用ください。「グレー」や「黒」の設定で長時間ご覧になると映像部分のみが焼き付いてしまうことがあるのでご注意ください。

7 設定が終了したら　または決定ボタンを押す

お知らせ

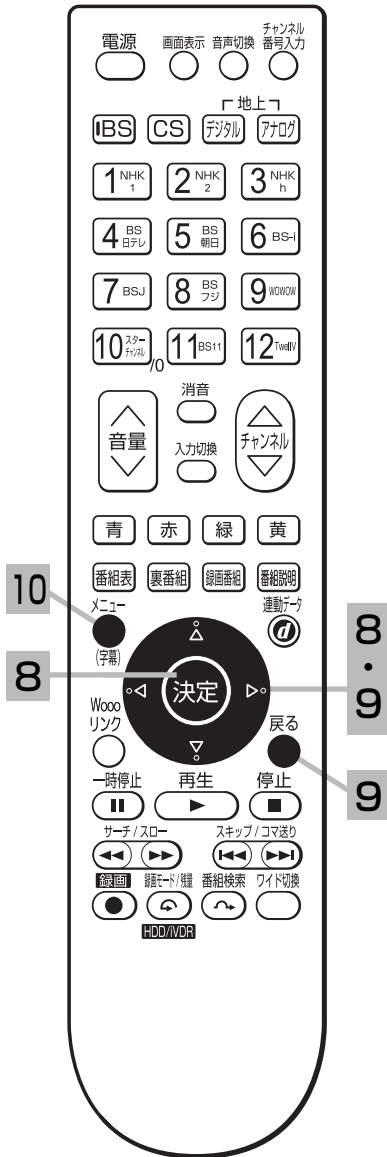
デジタル放送や 1125i(1080i)　HDMI/ コンポーネント入力時の背景色「オート 1/2」動作について

●ビスタサイズやシネスコサイズの映像のように、上下の黒帯部分 (映像のない部分) はグレーになりません。
●オート動作するまでに約 10 秒かかります。また、暗い映像では時間がかかったり動作しない場合があります。
●背景部分が放送局側で着色されているような場合はオート動作しません。
●「オート２」に設定していても、ロゴマークなどの表示位置によりオート動作しない場合があります。
●デジタル放送チャンネルを切り換えたり、デジタル関連の画面表示を出したりすると、オート動作は一時的にオフになります。
●オート動作により、放送内容によっては映像が欠けたり、黒背景が一部分残ったりすることがあります。

プラズマテレビの焼き付きについて

静止画（画面表示、放送局から送られる時刻表示など）や、ゲーム機などの固定映像を長時間または繰り返し表示させた場合、ノーマルワイドで長時間ご覧になった場合は、プラズマパネルが焼き付く場合があります。
焼き付きを生じにくくするためには、下記をおすすめします。また、別紙の「プラズマテレビを上手にご使用いただくために」も合わせてご覧ください。

①映像が画面いっぱいになるようにワイドモードを調節する。
②ノーマルワイドでご使用の際は、背景色を「オート１」または「オート２」に設定する。
③同じ絵柄を長時間または繰り返し表示させない。

焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

8 軽度の焼き付き現象が生じた場合

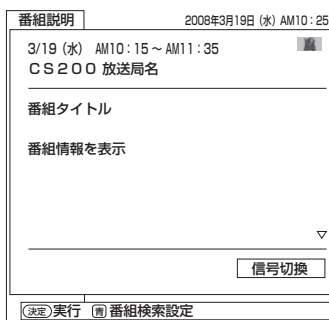
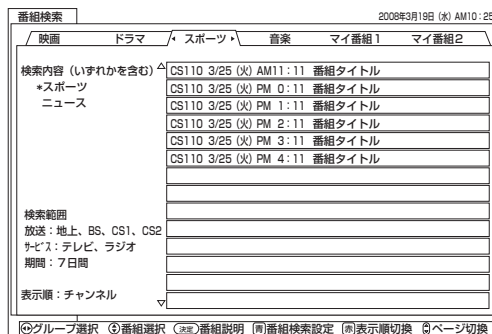
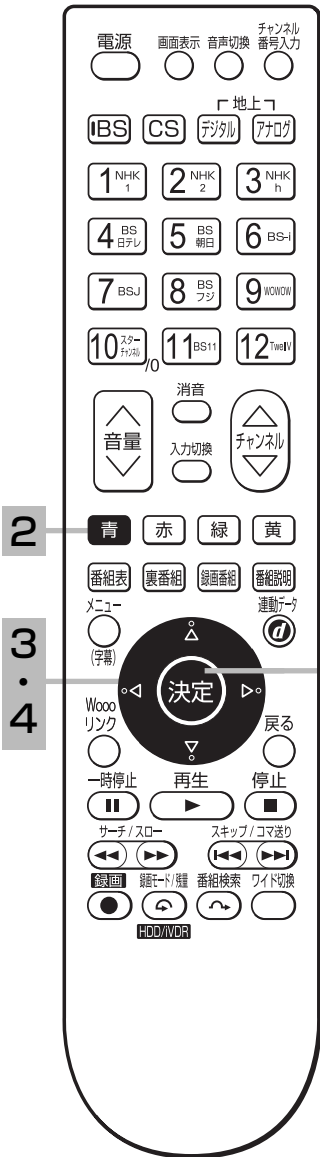
で「白パターン」を選び、 または決定ボタンを押す

軽度の焼き付きの場合は、数 10 分から数時間継続表示することで、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。
別紙の「プラズマテレビを上手にご使用いただくために」も合わせてご覧ください。

9 白パターンを終了するときは、 または戻るボタンを押す

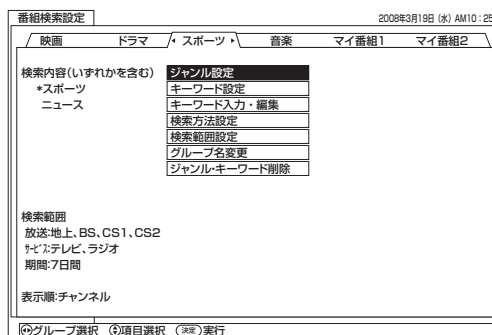
10 メニューボタンを押して、メニューを消す

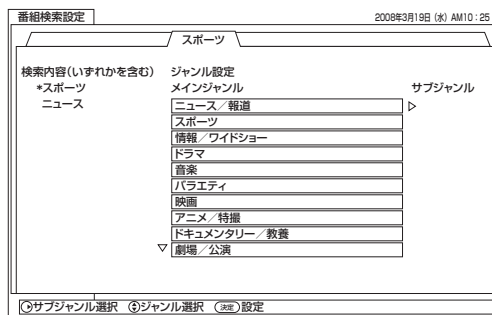
番組検索を設定する

1 次のいずれかの状態にする

番組説明表示中 25

番組検索表示中 26

2 青 ボタンを押す

番組検索設定画面が表示されます。

3 ◀▶で設定するグループを選び、▲▼で選択項目を選び、決定ボタンを押す

●「映画」「ドラマ」「スポーツ」などそれぞれのグループ別に設定できます。

4 ジャンル設定の場合

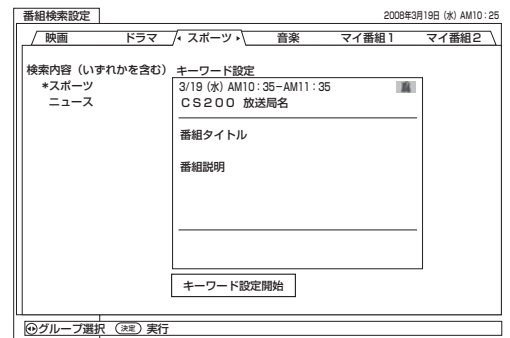
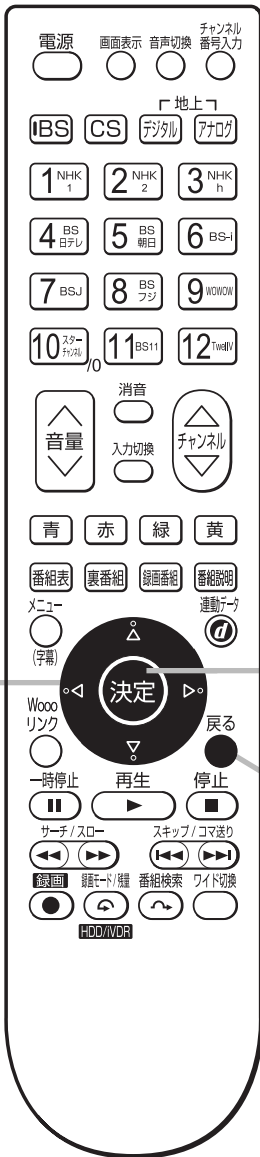
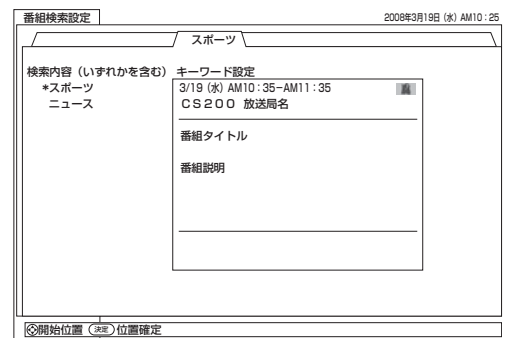
▲▼でお好みのジャンルを選び、決定ボタンを押す

●◀▶ボタンでメインジャンルとサブジャンルの切り換えができます。
●登録されたジャンル名の前には * マークが表示されます。
●終了する場合は、戻るボタンを押します。

（次ページにつづく）

4　キーワード設定の場合

キーワード登録できる番組名と番組説明が表示されます。

①決定ボタンを押し、で登録したキーワードの開始位置を選び、決定ボタンを押す

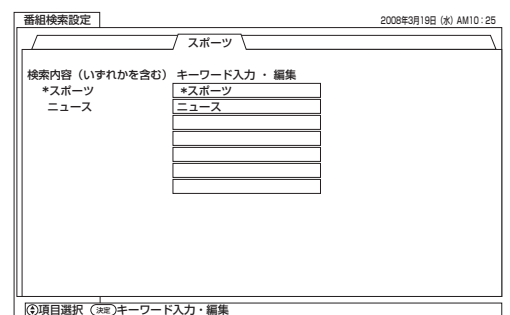
②でキーワードの終了位置を選び、決定ボタンを押す

終了する場合は、戻るボタンを押します。

キーワード入力・編集の場合

①で編集したいキーワードを選び、決定ボタンを押す

●何も表示されていない項目を選択した場合、新規での入力ができます。
●ジャンルの場合は、編集することはできません。

②文字を入力する

文字の入力方法については 97 〜 102 をご覧ください。

4

検索方法設定

で検索方法を指定する項目を選び、決定ボタンを押す

すべてを含む　：設定されたキーワードまたはジャンルがすべて含まれている番組を検索したい場合（AND 検索）
いずれかを含む：設定されたキーワードまたはジャンルのいずれかが含まれている番組を検索したい場合（OR 検索）

検索範囲設定の場合

で検索範囲を指定する項目を選び、決定ボタンを押す

●放送と、サービスは複数の項目を選択することができます。
選択された項目は□内に✓が表示されます。選択された項目を選んで決定ボタンを押すと、選択が解除されます。
●期間は選択された日にちの ▯ がグレーに表示されます。
● e2 by スカパー！の全番組を検索範囲に指定する場合は、CS1、CS2の両方を選択してください。
●終了する場合は、戻るボタンを押します。

グループ名変更の場合

でグループ名を選び、決定ボタンを押す

終了する場合は、戻るボタンを押します。

ジャンル、キーワード削除の場合

①　で削除する項目を選び、決定ボタンを押す

複数削除するときは同じことを繰り返します。

②　で「削除実行」を選び、決定ボタンを押す

●「削除する」と表示された項目が削除されます。
●終了する場合は、戻るボタンを押します。

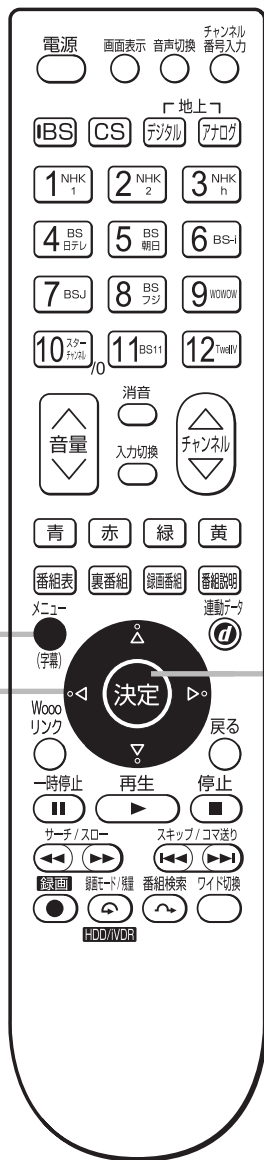
5

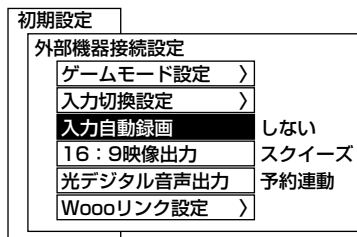
戻るボタンを押す

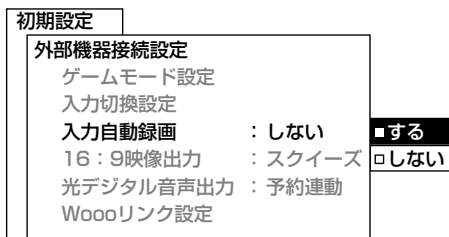
終了します。

調節・設定・確認

モニター出力に連動して録画する

入力自動録画に対応した外部機器をご使用になるときは、本機のモニター出力端子 (①準備編 47) に連動して外部録画機器に録画することができます。
外部録画機器の取扱説明書を併せてご覧ください。

10 の操作で「各種設定」の「初期設定」－「外部機器接続設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「入力自動録画」を選び、 または決定ボタンを押す

2 でお好みのモードを選ぶ

で下記モードが選択できます。
する / しない

する	録画先が「外部アナログ機器」の場合､録画予約の動作に連動して､モニター出力端子 (①準備編 47) から映像信号が出力されます。放送を視聴中は、モニター出力から映像信号は出力されません。入力自動録画機能をご使用になる場合に設定します。
しない	入力自動録画機能をご使用にならない場合に設定します。 お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

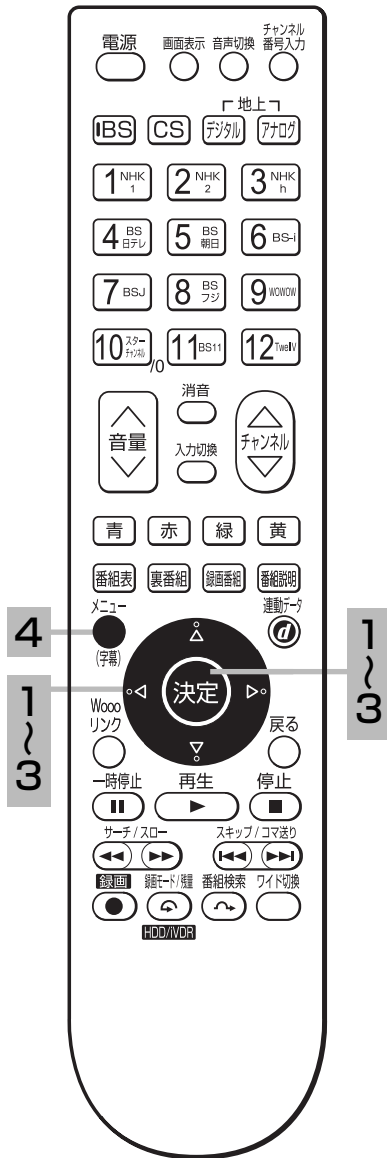
3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

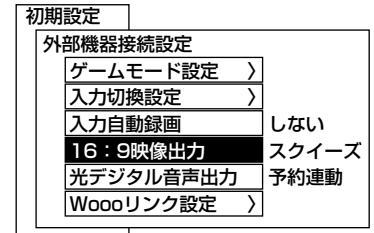
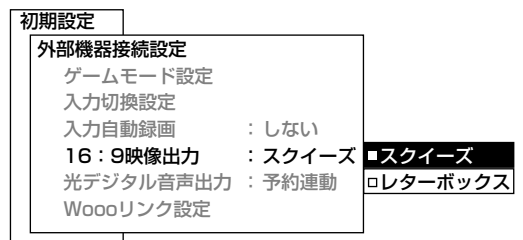
4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

入力自動録画設定について
入力自動録画に対応した外部録画機器は、本機の映像信号出力を検知して録画を開始するため、番組の始まりが一部録画されないことがあります。

モニター出力のワイドモードなどを設定する

デジタル放送のワイド放送番組を外部録画機器で録画するときに、モニター出力のワイドモードを設定することができます。

10 の操作で「各種設定」の「初期設定」－「外部機器接続設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「16：9 映像出力」を選び、 または決定ボタンを押す

2 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押す

で設定したい項目を選ぶ

設定項目	→	設定のポイント
16：9 映像出力	スクイーズ／ レターボックス	「スクイーズ」：ワイド放送（16:9）の番組は、スクイーズ映像（横圧縮映像）が出力されます。録画した番組を本機、または本機以外のワイドテレビでご覧になるような場合に設定します。 「レターボックス」：ワイド放送（16：9）の番組は、上下に黒帯の付いた映像が出力されます。録画した番組を本機以外の４：３テレビでご覧になるような場合に設定します。 お買い上げ時は、「スクイーズ」に設定されています。
光デジタル 音声出力	視聴連動／予約連動	「視聴連動」：現在視聴中の番組の音声を出力します。電源を切にすると出力されません。 「予約連動」：外部録画機器への録画予約実行中は、録画中の番組の音声を出力します。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

他の項目を設定するときは、手順 2、3 をくり返す。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

16：9 映像出力について

- ワイド放送（16：9）の番組を受信したときのみ有効になります。
- 番組表、データ放送画面は出力されません。

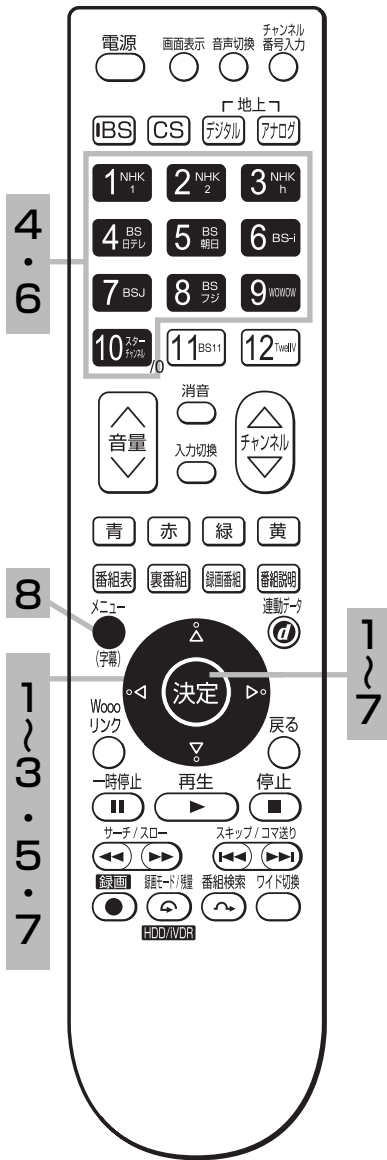
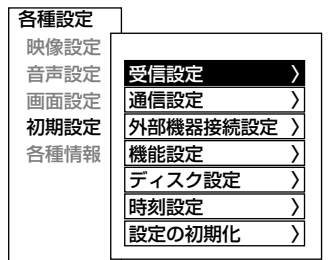
光デジタル音声出力について

- 「予約連動」に設定している場合でも、外部アナログ機器に録画予約実行中以外は視聴中の番組の音声を出力します。

視聴制限の設定

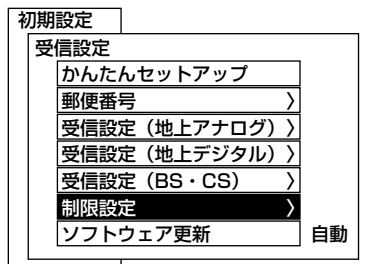
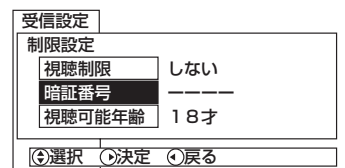
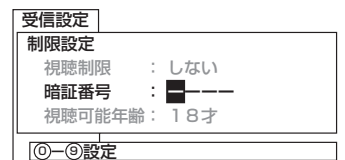
視聴制限を設定する

視聴制限（視聴可能年齢）をご使用になるには、暗証番号の登録が必要です。
視聴制限を「する」に設定すると、視聴制限の対象になる番組は暗証番号を入力しないと視聴できません。
お買い上げ時は、視聴制限は「しない」に設定されています。

10 の操作で「各種設定」の「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「受信設定」を選び、 または決定ボタンを押す

2 で「制限設定」を選び、 または決定ボタンを押す

制限設定画面が表示されます。

初期設定
受信設定
かんたんセットアップ
郵便番号
受信設定（地上アナログ）
受信設定（地上デジタル）
受信設定（BS・CS）
制限設定
ソフトウェア更新　自動

3 で「暗証番号」を選び、 または決定ボタンを押す

4 数字ボタンで暗証番号を入力し、決定ボタンを押す

●暗証番号を確認する画面が表示されます。もう一度、暗証番号を入力してください。
●暗証番号が登録されると、「視聴制限」は「する」に設定されます。

お知らせ

登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておいてください。

5 ○で「視聴可能年齢」を選び、○または決定ボタンを押す

6 数字ボタンで年齢を設定し、決定ボタンを押す

7 設定が終了したら○または決定ボタンを押す

8 メニューボタンを押して、メニューを消す

調節・設定・確認

お知らせ

視聴可能年齢について

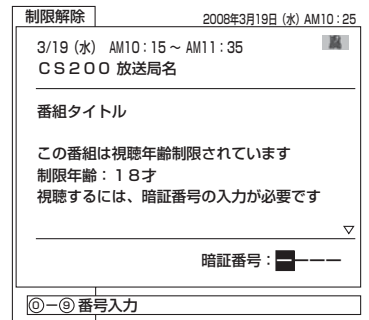
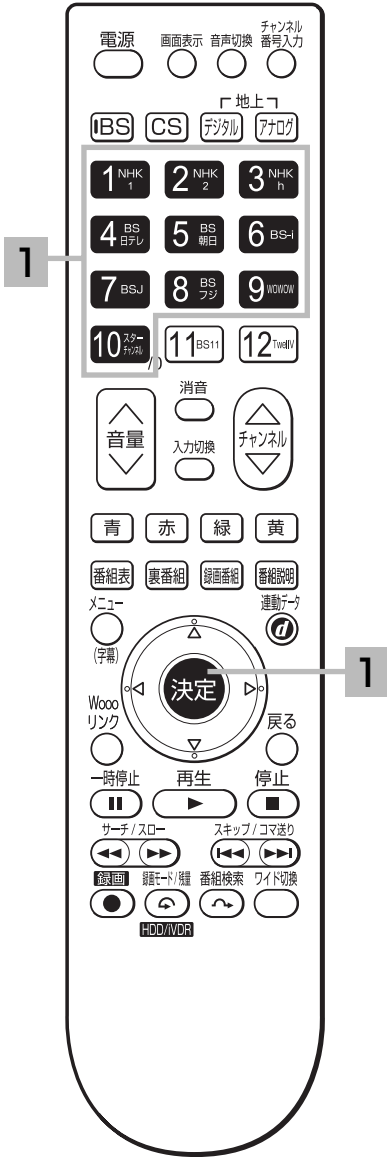
●視聴可能年齢は４～20まで１才単位に設定できます。（４～９才は、はじめに０を押してください。）
●「20」に設定すると番組の対象年齢に関係なく、そのまま視聴できます。
●お買い上げ時は「20」に設定されています。
●番号を入力している途中で修正するときは、○ボタンを押して、修正したいところまで戻して行ってください。

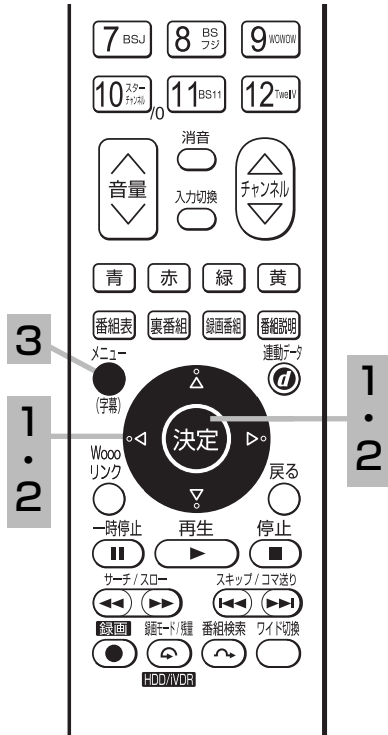
視聴制限の設定

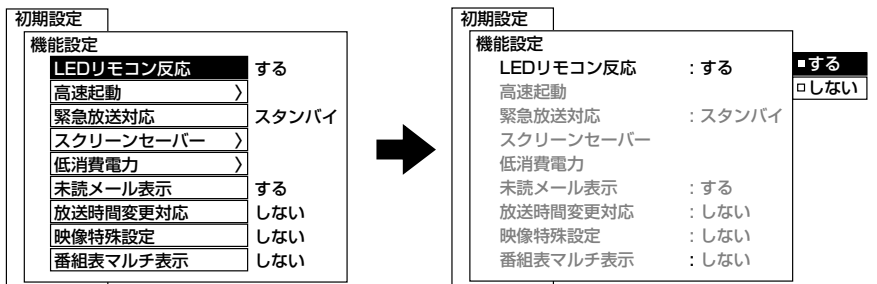
視聴制限を一時的に解除する

視聴制限の対象になる番組を選んだとき

視聴制限の対象になる番組を選んだ場合、制限解除画面が表示されます。
暗証番号を入力して、視聴制限を一時的に解除する必要があります。

1 数字ボタンで暗証番号を入力し、決定ボタンを押す

放送時間変更対応、メール表示などの設定

●予約した番組が実際に放送されるとき、登録した時間と異なる場合、放送に合わせて予約実行するかを設定できます。
●デジタル放送局からメール 142 が着信すると画面下に「✉メールがあります」と表示されます。また、未読メールがあるときは、チャンネル表示やビデオ表示とともに画面右下に✉マークが表示されます。35 これらを表示させないようにすることができます。
●番組表の表示方法を変更することができます。

10の操作で「各種設定」の「初期設定」－「機能設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で設定する項目を選び、または決定ボタンを押し、で設定する

設定項目	→	設定のポイント
LED リモコン反応	する / しない	「する」：リモコンを操作すると､受像ランプが点滅します。正しくリモコン信号を受信できているか確認できます。 「しない」：点滅しないようにするときは、「しない」に設定します。
未読メール表示	する / しない	「する」：状況に応じて✉マークや「✉メールがあります」を表示します。 「しない」：メールの未読表示をしたくないときは「しない」に設定します。
放送時間変更対応	する / しない	「する」：実際に放送される時間に合わせて予約を実行します。視聴状況によっては、追従できない場合があります。 「しない」：予約登録された時間のまま予約を実行します。
番組表マルチ表示	する / しない	「する」：1 つのチャンネルに複数のサービスがある場合、3 チャンネル分の表示欄を表示します。 「しない」：1 つのチャンネルに複数のサービスがある場合、任意の 1 チャンネル分を表示します。表示されないチャンネルは縦の水色の帯で表示されます。

2 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

3 メニューボタンを押して、メニューを消す

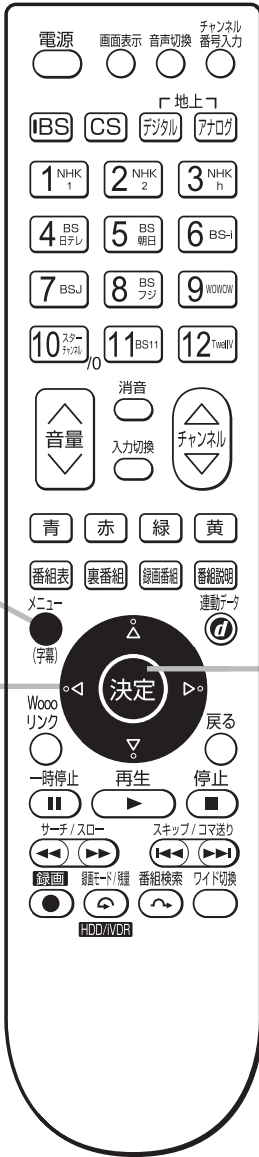
お知らせ

放送時間変更対応について
● 3 時間を越える開始時刻延長には対応しません。
●マニュアル予約は放送時間変更に対応しません。
●放送時間変更対応を「する」に設定した場合、録画実行中に放送時間が変更になり、他の予約が重なると重なった予約はキャンセルされます。(予約は実行されません。)
●放送時間の変更に追従できない場合があります。大切な番組を録画する際は、マニュアル予約にて時間に余裕を持たせて録画予約することをお勧めします。

メール表示について
●メールをご覧になるときは 142 を参照してください。
●既に未読メールがあるときに新たにメールが着信しても「✉メールがあります」は表示されません。
●お買い上げ時は､「メール表示」は「する」に設定されています。

番組表マルチ表示について
●お買上げ時は、「番組表マルチ表示」は「しない」に設定されています。

緊急警報放送を受信できるようにする

警戒宣言や津波警報が発令されたときなどに、災害警報を放送しているチャンネルに切り換えることができます。

10の操作で「各種設定」の「初期設定」－「機能設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「緊急放送対応」を選び、 または決定ボタンを押す

2 で「視聴中」または「スタンバイ」を選ぶ

切	緊急警報放送を受信しないときは、「切」に設定します。
視聴中	警報宣言や津波警報が発令されたときなどに、緊急警報放送が行われていることを案内します。 その CH を選局するときは、「はい」を選択して決定ボタンを押します。 お買い上げ時は、「視聴中」に設定されています。
スタンバイ	電源がスタンバイ状態のときにも自動的に緊急警報放送を受信することができます。リモコンや本体操作のない状態が約 1 時間以上続くと、自動的に電源を「切」にします。

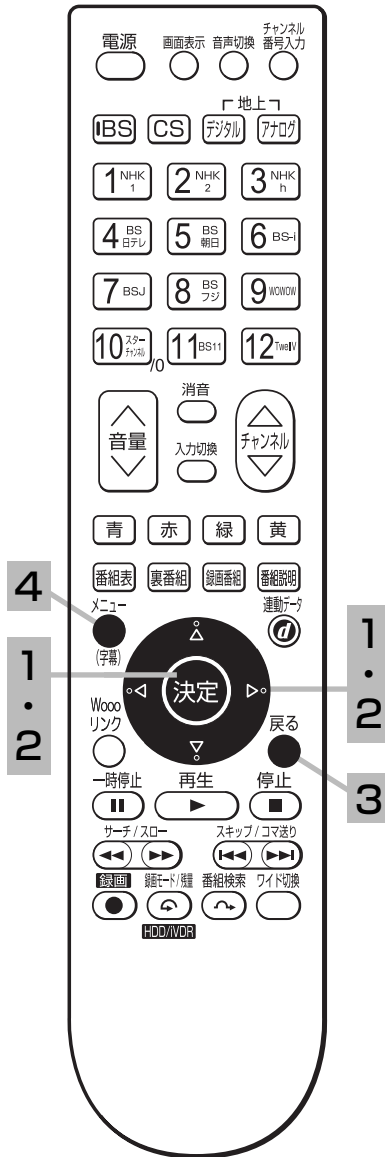
3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

●予約録画中、ソフトウェア更新 (① 準備編 115) 実行中は本機能を設定していても、緊急警報放送は受信できません。
●緊急放送対応「スタンバイ」の場合
・電源スタンバイ（オフ時）の消費電力は、約 35W になります。
・モニター本体の電源スイッチが「切」になっているときは動作しません。

すぐに操作できるようにする（高速起動）

本機では電源が切れている状態から操作がすぐにできるように設定することができます。
ご使用の時間帯に合わせて設定することにより、あまりご使用にならない時間帯では消費電力を低減することができます。

10の操作で「各種設定」の「初期設定」－「機能設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「高速起動」を選び、または決定ボタンを押す

2 で時間帯を選択し、決定ボタンを押す

チェックマーク「✓」が設定されます。
解除する場合は、再度時間帯を選択して決定ボタンを押します。

□ ⇔ ☑
実行しない　実行する

●すべてを選択するときは、「全て選択」を選んで決定ボタンを押します。
●すべてを非選択にするときは「全てクリア」を選んで決定ボタンを押します。

機能設定
高速起動
全て選択　全てクリア

実行	時間帯（AM）	実行	時間帯（PM）
□	AM 0:00−AM 2:00	□	PM 0:00−PM 2:00
□	AM 2:00−AM 4:00	□	PM 2:00−PM 4:00
□	AM 4:00−AM 6:00	□	PM 4:00−PM 6:00
☑	AM 6:00−AM 8:00	☑	PM 6:00−PM 8:00
□	AM 8:00−AM10:00	☑	PM 8:00−PM10:00
□	AM10:00−PM 0:00	☑	PM10:00−AM 0:00

選択　(決定)実行設定　(戻る)設定終了

実行する	リモコンで電源オフにすると、映像・音声などの信号は停止しますが、電源が切れている状態からすばやく起動できるようになります。ただし、電源オフ時の消費電力は約 35W となります。
実行しない	電源オフにすると、映像・音声などの信号は停止し、待機消費電力を少なく（待機時約 0.4W）します。

お買い上げ時はすべて「実行しない」に設定されています。

3 設定が終了したら戻るボタンを押す

4 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

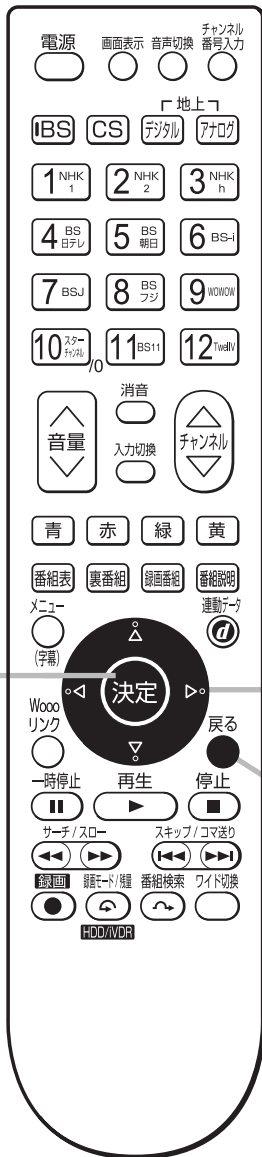
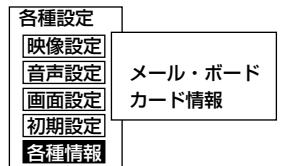
BS・CS デジタル放送または、地上デジタル放送を受信しない場合は、時刻情報が取得できないために時間帯の設定は無効になります。「全て選択」で全時間帯を設定した場合は、常に高速起動が有効になります。

調節・設定・確認

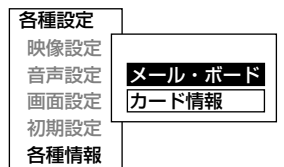
インフォメーションの確認

メール・ボードを見る

メールは、デジタル放送している局からお客さまへ送られるメッセージです。内容を必ず確認してください。
ボードは、CS 放送での「放送局からのお知らせ」です。
ご連絡には、電話回線の接続異常やソフトウェアを書き換えるためのダウンロード情報などがあります。

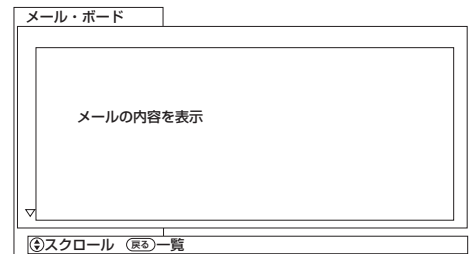
10の操作で「各種設定」の「各種情報」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「各種情報」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「メール・ボード」を選び、決定ボタンを押す

メール・ボード画面が表示されます。

各種設定
映像設定
音声設定
画面設定
初期設定
各種情報
メール・ボード
カード情報

3 で見たいメールを選び、決定ボタンを押す

内容を確認していないメールの場合、メール (未読) と表示されます。

4 内容を確認する

続きの内容を見るときは、ボタンを押します。

5 戻るボタンを 2 回押す

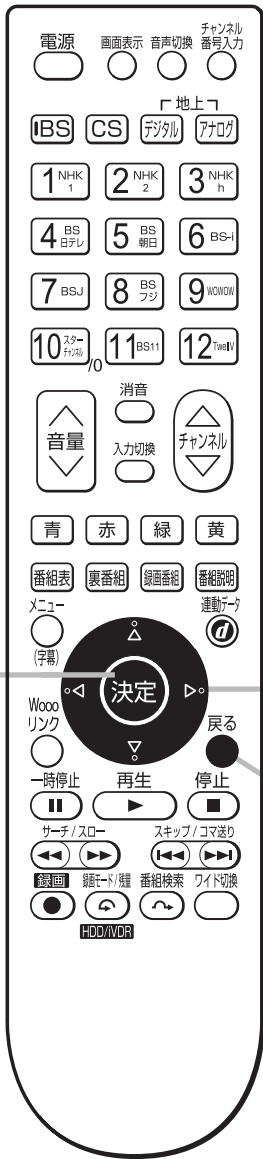
終了します。

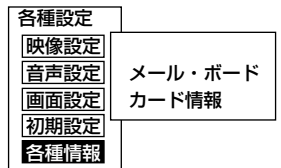
お守りください

B-CAS カードが挿入されていないとメールは受信できません。

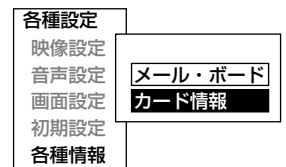
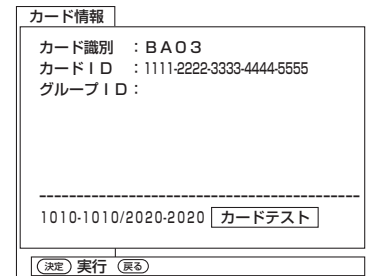
お知らせ

放送局から送られてくるメールは 31 通まで記録されます。31 通を超えた場合、古いメールから自動的に削除されます。

カード情報を見る

10の操作で「各種設定」の「各種情報」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「各種情報」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「カード情報」を選び、決定ボタンを押す

カード情報が表示されます。

各種設定
映像設定
音声設定
画面設定
初期設定
各種情報
メール・ボード
カード情報

3 カードテストを行う場合は、決定ボタンを押す

● B-CAS カードが正常な場合は、「正常に動作しています」と表示されます。
●正常に動作していない場合は、「B-CAS カードの挿入」をご覧になり、カードが正しく挿入されているかなどをご確認ください。(①準備編 40)

4 戻るボタンを押す

終了します。

調節・設定・確認

お知らせ

グループ ID は表示されないことがあります。

困ったときは

故障かな？と思ったら

電源プラグやアンテナ線がはずれているとテレビの故障とまちがえることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。

> ⚠ **警告**
> お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

> ⚠ **注意**
> アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

全般

このようなときは…		よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
映像が出ない 音も出ない	スタンバイランプが消えている場合	①電源コードが抜けている。 ②電源ブレーカーが落ちている。 ③電源が切になっている。	①電源コードの挿入を確認してください。 ②電源ブレーカーを確認してください。 ③電源を入にしてください。	58 16 18
	受像ランプが青色点滅の場合	ビデオ入力のパワーセーブ状態です。	①選択した入力端子に接続してある機器の電源が入っているか確認してください。 ②選択した入力端子の機器との接続に問題が無いか確認してください。	133
	受像ランプが青色の場合	選択した入力端子に何も接続されていない。	入力切換ボタンで、機器が接続されている入力端子を選択してください。	104
映像が出ない（音は出る）		①テレビ内部の温度が高くなり、保護回路が動作している。 ②選択した入力端子の機器の接続に誤りがある。（映像信号線と音声信号線が異なる入力端子に接続されている。）	①テレビの電源を切って、十分に冷やしてから（10分程度放置）、再度電源を入れてください。 ※テレビ背面の通気穴にほこりがつまったり、通気穴が布などでふさがれていないか、また狭いラックなどに入っていないか確認してください。 ②選択した入力端子の機器との接続に問題が無いか確認してください。	—
音が出ない（映像は出る）		①音量調節が0になっている。 ②消音ボタンを押している。 ③無信号チャンネル、弱電界チャンネルまたはゴースト妨害が大きいチャンネルを受信したときのみ音が出ない場合は、無信号音声ミュートが働きます。（アナログ放送） ④ヘッドホンプラグが差し込まれている。（ヘッドホンモード「1」のとき） ⑤選択した入力端子の機器の接続に誤りがある。（映像信号線と音声信号線が異なる入力端子に接続されている。）	①音量ボタン(∧)を押してみてください。 ②もう一度消音ボタンを押してみてください。 ③信号のあるチャンネルを受信してください。アンテナ設置状態や接続を見直してください。 ④ヘッドホンプラグを抜く、またはヘッドホンモード「2」で使用する。 ⑤選択した入力端子の機器との接続に問題が無いか確認してください。	17 20 34 121
外部機器の映像が乱れる		外部機器との接続時、D端子ピンケーブルを使用している。	メニューの「画面設定」「ワイド制御信号検出」の設定を「しない」にしてください。	47 124

全般（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
テレビの電源を入れると、他の機器のリモコン操作ができない	リモコンスルー機能により、リモコン送信機の信号とIRコントローラーの信号が干渉している。	IRコントローラーからの信号が本体のリモコン受信窓に飛び込まない位置に設置してください。	55
リモコンでテレビが操作できない	①リモコン送信機の乾電池が逆に入っている。 ②リモコン送信機の乾電池の寿命がなくなっている。 ※リモコンが正常に受信できているときは、受像ランプが点滅します。139	①乾電池を正しく入れてください。 ②乾電池を新しいものに交換してください。	35
勝手に電源が切れる	①パワーセーブ、無信号電源オフ、無操作電源オフなどの低消費電力機能が設定されている。 ②テレビ内部の温度が高くなり、保護回路が動作している。	①低消費電力機能の設定を確認してください。 ②テレビの電源を切って、十分に冷やしてから（10分程度放置）、再度電源を入れてください。 ※テレビ背面の通気穴にほこりがつまったり、通気穴が布などでふさがれていないか、また狭いラックなどに入っていないか確認してください。	125
赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドフォンにノイズが入ったり、音が聞こえない。	赤外線通信機器は通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありません。		—
ラジオに雑音がはいる	近くでラジオを使用しますと、雑音がはいる場合があります。テレビより十分に離してご使用ください。		—
電源を切ってある（スタンバイランプが赤色で点灯している）のに、突然「カチッ」「ヒューン」と音がする。	本機では、リモコンで電源を「切」にしていても下記の場合に、本体内部のスイッチを自動で入れたり切ったりします。このとき、「カチッ」というスイッチ音がしたり、「ヒューン」というHDDが起動する音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。 ●高速起動を設定しているとき 141 ●ダウンロードしているとき 115 ●有料放送の契約・購入状況などの情報を取得するとき ●番組情報を取得するとき ●予約録画の開始時刻が6分以内にあるとき ●時刻を自動的に修正するとき		—
テレビから「ジー」と音がする	ご使用中に、プラズマパネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。 テレビと背面の壁が近いと、「ジー」音が壁に反射して大きく聞こえる場合があります。このような場合は、テレビを背面の壁と十分に離して設置してください。		—

メモ

参照ページマークについて

マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

故障かな？と思ったら（つづき）

全般（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
テレビの後面から「ブーン」や「カリカリ」と音がする	本体内部のファンモーターやHDDが動作する音で、故障ではありません。		—
テレビの上部が熱い	テレビは、長時間使用したときなどに、上部が熱くなる場合があります（50～60℃くらい；室温25℃にて）が、故障ではありません。		—
電話機にノイズ（雑音）が入る	一部の電話器やファクシミリでモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	モジュラー分配器を使用しないで、市販されている自動転換器、または電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—
テレビの表面温度が高い	プラズマパネルは、内部で放電を起こすことにより、蛍光体を発光させています。そのため、パネル表面温度が高くなる場合があります（50～60℃くらい；室温25℃にて）が、故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		—
画面上に周囲と異なる点（※）がある ※光らない点、周囲より明るい点、周囲と色が異なる点など	プラズマテレビは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点や輝点が存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		—
映像の内容により、縦状のノイズが出る	プラズマパネルは、放電によって蛍光体を発光させるため、画面の内容によっては、誤点灯のためまれに縦状のノイズが出る場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		—
映像の内容によって画面が明るくなったり暗くなったりする	テレビの省電力機能により明るさを自動調節しています。この機能により、明るい部分（白）が多い映像の時は、画面が暗くなります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		—
斜めから字幕などを見ると２重に見える	プラズマテレビは、発光部であるプラズマパネルの前側に、前面フィルターと称するガラスが隙間を設け装着されております。本構造により、パネルで発光した字幕文字などの高輝度映像が前面フィルター内側で反射し、それがパネル表面に薄く映りこんで2重に見えたものです。部品不具合や故障によるものではありません。		—
「ピシッ」と音がする	冷暖房などの室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。		—
モニタを軽くゆするとスタンドから「カチカチ」と音がする（P50-XR02）	スタンド内部の回転機構には、動作を円滑にするためのすき間が設けてあります。そのため、軽くゆすると音がしますが故障ではありません。		—
映像内容が変わったときに、前の映像が残って見える	静止画（画面表示、放送局側から送られてくる時刻表示など）やメニュー表示を短時間（約1分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。		—
テレビの電源を入れたあと、約１分間くらいリモコン操作を受け付けにくい	ハードディスク（HDD）の準備中のために、メニュー表示などのリモコン操作が受け付けにくい場合がありますが、故障ではありません。		—

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
テレビの電源を入れたあと、約１分くらいの間に四角のノイズ（ブロックノイズ）が出る	ハードディスク（HDD）の準備中のために、画面に四角のノイズ（ブロックノイズ）がまれに出る場合がありますが、故障ではありません。		—
●映画の字幕や映像が切り換わるときに細かい横スジ状に見える。 ● CM やアニメーションなどのシーンの切り換わりで、映像が細かい横スジ状に見える。 ●テロップや字幕が流れたときに、文字がギザギザに見える。	これらの現象は映像の製作方法によるもので、故障ではありません。気になる場合は、フィルムシアターまたは映像クリエーションを「切」でご覧ください。		116
電源を入れてから、映像・音声が出るまで時間がかかる	電源を入れてから、映像・音声が出るまでに 15 秒程度の時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。 本機には高精度のデジタル信号処理回路が搭載されており、この回路の動作安定処理に要する時間です。		—
映像設定の操作ができない	メニューの「映像特殊設定」を「しない」に設定してください。		117
すべての操作ボタンを受け付けない	本体側面にあるリセットボタンを 1 秒以上押してください。（リセット）		28
●画面の四すみが暗い。 ●画面全体に菱形の模様が薄く見える。	この現象は、シェーディング機能によるもので、故障ではありません。 シェーディング機能は、放送局のロゴ表示などによる焼付き現象を生じにくくする為の機能です。 この現象が気になる場合は、「シェーディング」を「切」に設定してください。		127
電源が「切」になり、スタンバイ / 受像ランプ（赤）が点滅している	ほこりの付着などにより本体内部のファンモーターが停止している。	お買い求めの販売店にご相談ください。	—

メ　モ

参照ページマークについて

マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

故障かな？と思ったら（つづき）

地上アナログ放送のとき（VHF・UHF）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
カラー番組のときに色が出ない	色の濃さの設定が－（淡）側いっぱいになっている。	映像設定で色の濃さを選択し、＋にしてみてください。	113
画像が２重３重に映る（ゴースト）	近くに山や大きな建物、樹木がある場合、反射電波によって起こる。	①ビルが建つなど、周囲の状況についてお調べください。 ②アンテナの向きがずれていないかお調べください。	—
●雪が降っているような画面になりハッキリしない（スノーノイズ） ●「アンテナ・受信設定を確認して下さい」と表示がでる	アンテナの向きが正しくない。	アンテナの向きがずれていないかお調べください。	36
	アンテナ線がはずれている。	セット後面のアンテナ端子板の接続端子をお調べください。	
	受信設定が合っていない。	①お住まいの都市の地域番号で放送局を設定してください。 ②お好みに合わせてマニュアルによるチャンネル合わせをしてください。	89 98
	チャンネルの微調が合っていない。	電波状態によって同調を少しずらした方が見やすくなるときに調節してください。	99
	放送局から放送されていない。	放送されていないCHや深夜の放送されていない時間帯では、しばらく放置すると「アンテナ・受信設定を確認して下さい」の表示がでることがあります。	—

メ　モ

参照ページマークについて

■マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

□マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

デジタル放送のとき

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
(BS、110度CSデジタル放送のとき) ●映像や音声が出ない、または時々出なくなる ●映像が時々静止する ●画面に四角のノイズ(ブロックノイズ)が出たり、途切れたりする	① BS/CS アンテナの向きがずれている。 ②雷雨や豪雨などにより、受信電波が弱くなり、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなる場合があります。	①「CH 合せ (BS)」または「CH 合せ (CS)」でアンテナ入力レベルが最大になる角度に BS/CS アンテナを調節してください。 ②天候が回復すると元に戻ります。	117
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 110 度 CS デジタル放送が受信できない	●アンテナが 110 度 CS デジタル放送に対応していない。 ●アンテナ線やブースター、分配器が 110 度 CS デジタル放送に対応していない。	アンテナ、アンテナ線、ブースター、分配器は、110 度 CS デジタル放送に対応したものを使用してください。	38 39
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる	本機とアンテナ線を接続するとき、デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用すると、PHS デジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受ける場合があります。	アンテナを接続する場合は、シールド性の良い BS · CS デジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。	38 39
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 急に画質や音質が少し悪くなった	降雨対応放送になっている。	雨の影響により、受信電波が弱くなっている場合は、電波が弱くなっても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。天候が回復すると元に戻ります。	—
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 有料放送の視聴ができない	① B-CAS カードが正しく挿入されていない。 ②有料放送を視聴するための手続きがされていない。	① B-CAS カードを正しく挿入してください。 ②視聴手続きを行なってください。	40 23
(地上デジタル放送のとき) ●映像や音声が出ない、または時々出なくなる ●映像が時々静止する ●画面に四角のノイズ(ブロックノイズ)が出たり、音声が途切れたりする	①UHFアンテナの向きがずれている。 ② UHF アンテナが地上デジタル放送に対応していない。(特定チャンネル対応の場合など) ③●ブースターの調整やアッテネーターの設定が適切になっていない。 ●放送局の送出出力が変化した。	①「チャンネルの合わせかた(地域名)」のメニューで、受信レベルが受信可能なレベルになるよう調整してください。 ②地上デジタル放送に対応していない場合は、対応する UHF アンテナを使用してください。 ③ブースターの調整を見直したり、アッテネーターの入、切により、受信レベルが受信可能なレベルになるよう調整してください。	109 36 24 104
	ケーブルテレビを利用して CATV パススルー方式でご覧になる場合、「チャンネルの合わせかた (地域名)」のメニューで「CATV 受信」を「する」にして初期スキャンしてください。詳しくは、ご加入または最寄りのケーブル会社へお問い合せください。		108

故障かな？と思ったら（つづき）

デジタル放送のとき（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
（地上デジタル放送のとき） 地上デジタル放送が受信できない	地上デジタル放送の放送エリアからはずれている。	お客様の居住されている地域で、地上デジタル放送が開始されているか確認してください。	24
	ケーブルテレビを利用して CATV パススルー方式でご覧になる場合、「チャンネルの合わせかた (地域名)」のメニューで「CATV 受信」を「する」にして初期スキャンしてください。詳しくは、ご加入または最寄りのケーブル会社へお問い合せください。		108
（地上デジタル放送のとき） 視聴中の放送の番組表しか情報が表示されない	①設置後、選局した放送以外の電子番組表が表示されない。 ②深夜に予約録画を実行している、または深夜に電源を切っている。	①地上デジタル放送では、電子番組表情報はそれぞれの放送ごとに送られています。表示されない放送をチャンネルボタンで選局後、しばらく視聴してから表示してください。 ②地上デジタル放送の電子番組情報を深夜 1：30 に自動的に取得します。この時間に予約録画を実行したり電源を切っていると情報を取得できません。	24
予約が実行されない	①録画開始時刻に本体の電源スイッチが切られていた。または停電等で AC 電源が切になった。 ②予約録画実行時に HDD/iVDR の残量がなかった。 ③「視聴予約」で予約して、電源がオフになっている。	①録画予約した後に電源を切る場合は、リモコンで電源を切ってください。 ②録画予約を行う場合は、事前に残量を確認してください。 ③「視聴予約」で予約した場合は、電源オフにしていると予約が実行されません。	55
字幕が出ない	①メニュー画面などが表示されている。 ②字幕のある番組を選局していない。 ③外部機器に字幕設定有りで録画している。	①メニューや操作画面を消してください。 ②番組説明に「字幕あり」と表示されている番組を視聴してください。	38
本機から通信を行なうと電話器やファクシミリに呼び出し音が鳴る	一部の電話器やファクシミリでモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	モジュラー分配器を使用しないで、市販されている自動転換器（パソコン対応）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—
電話器にノイズ（雑音）が入る	一部の電話器やファクシミリでモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	市販されている自動転換器、または電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—
ダウンロードを行なったら、受信できなくなった	ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。		—
●デジタル放送やデータ放送の映像が静止したり、映らない ●デジタル放送やデータ放送の選局や操作ができない	本体のリセットボタンを 1 秒以上押してください。（リセット）		28

HDMI 対応機器を接続のとき

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
映像が出ない、乱れる	① HDMI ケーブルの接続を確認してください。 ②一部の機器では、正常に動作しないことがあります。 ③本体および接続機器の電源を「切」→「入」にしてください。 ④接続機器の設定を対応信号にしてください。		48
Wooo リンクが動作しない、正しく動作しない	① Wooo リンク対応機器を接続してください。 ② Wooo リンク設定を確認してください。 ③ Wooo リンク対応機器をつなぎ変えたり、取りかえた場合は、正しく動作しないことがあります。Wooo リンク設定を再設定してください。 ④ Wooo リンク対応機器側の設定を確認してください。 （詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。）		49 128 128

HDD 操作のとき

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
録画ができない	① HDD（または iVDR）の空き容量が足りない。 ②他の番組を録画中である。 ③録画済みタイトル数が 999（上限）になっている。 ④録画が禁止された番組を録画しようとした。 ⑤ラジオ放送またはデータ放送の番組を録画しようとした。	①不要な録画済み番組を消去してください。 ②他の番組の録画が終了もしくは中止してから録画してください。 ③不要な録画済み番組を消去してください。 ④録画が禁止されている番組は録画できません。 ⑤ラジオ放送およびデータ放送は、録画することができません。 ⑥録画済の番組は全て消去されますが、「HDD（または iVDR）初期化」を行なってから動作を確認してください。	78 42 44 78 45 44 124
録画が途中で止まる	① HDD（または iVDR）の空き容量が足りない。 ②録画済みタイトル数が 999（上限）になっている。 ③途中から、録画が禁止された番組に切り替わった。 ④録画中に電源プラグ抜けや停電があった。	①不要な録画済み番組を消去してください。 ②不要な録画済み番組を消去してください。 ③録画が禁止されている番組は録画できません。	78 78 45
録画予約登録ができない	① HDD（または iVDR）の空き容量が足りない。 ②録画済みタイトル数が 999（上限）になっている。 ③未契約の番組や、録画が禁止された番組を録画しようとした。	①不要な録画済み番組を消去してください。 ②不要な録画済み番組を消去してください。 ③未契約の番組や録画が禁止されている番組は録画できません。	78 44 78 45

メ　モ

参照ページマークについて

■マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。
□マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

故障かな？と思ったら（つづき）

HDD 操作のとき（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
外部入力録画ができない	①録画制限された番組を録画しようとした。 ②ビデオ 1、2 のコンポーネント入力信号を録画しようとした。	①録画制限された番組は記録できません。 ②コンポーネント入力信号は録画できません。ビデオ信号（コンポジット信号、S 映像信号）を録画してください。	45 44
録画停止ができない	予約録画中に「停止」ボタンによる録画停止をしようとした。	メニュー機能の「予約録画停止」を選択、決定してください。	8 61
再生できない	録画時の異常などにより、正常録画されてなかった番組を再生しようとした。	正常に録画できなかった番組は再生できません。	45
再生画面に四角のノイズ（ブロックノイズ）が出るときがある	以下の場合に発生する場合がありますが、故障ではありません。 ●元の映像にブロックノイズがある場合 ●天候などにより、受信環境が悪化した場合 ●録画モードが長時間モードになっている場合 ●画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 ●内蔵 HDD（または iVDR）の物理エラーによる場合 （録画モードや録画内容によらず、大量にブロックノイズが発生する場合は、HDD（または iVDR）の故障の場合があります。そのような場合は、当社お客様相談窓口までご相談ください）		—
「TS」以外のモード (TSE、XP、SP、LP、EP) で録画した番組を再生したときに、四角のノイズ（ブロックノイズ）が出たり画面が静止したりすることがある	「TS」以外の録画モードでは長時間録画のための処理を行なうため、以下の場合に四角のノイズ（ブロックノイズ）が出たり画面が静止したりすることがありますが故障ではありません。 デジタル放送の受信で、 ●受信状態が悪い場合 ●天候などにより受信環境が悪化した場合 ●外来ノイズを受けた場合 などに録画、再生した場合。	「TS」以外の録画モードでは、受信状態の影響を受けやすくなります。デジタル放送のアンテナ設置状態や接続を見直して、十分な受信レベルを確保してください。 詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。 ノイズが気になる場合は、「TS」モードでの録画をおすすめします。	150 36～39 109 117 45
「TS」以外のモード (TSE、XP、SP、LP、EP) で録画した番組を再生したときに、放送受信時よりも四角のノイズ（ブロックノイズ）が多く発生することがある	「TS」以外の録画モードでは長時間録画のための処理を行なうため、シーンの切り換わりの場面や動きの激しいシーンのある場面を録画、再生した場合に、放送受信時よりも四角のノイズ（ブロックノイズ）が多く発生することがありますが故障ではありません。 ノイズが気になる場合は「TS」モードでの録画をおすすめします。		45
「ダビング」ができない	録画制限された番組をダビングしようとした。	録画制限された録画番組はダビングできません。HDD 内の録画番組が消去されても良い場合は、「移動」をおこなってください。	91

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
再生時、音が出ない	外部入力録画で、音声信号が入力されていなかった。	外部入力の音声入力がきちんと接続されているか確認してください。	46
録画済みの番組を消去できない	削除ロックされている録画済み番組を消去しようとした。	削除ロックされている録画済み番組を消去する場合は、削除ロックを解除してから消去してください。	77
全番組削除ができない	①全番組削除操作をしたが、削除ロックされている録画済み番組が残っている。 ②全番組削除の項目がグレー文字になっていて操作できない。	①録画番組一覧表示などで確認し、削除ロックされている録画済み番組がある場合は、削除ロックを解除してから全番組削除を実行してください。 ② 15 分以内に始まる予約録画の登録がある場合は、全番組削除はできません。予約が終了してから削除してください。または、番組単位で削除してください。	77 79
録画した番組が消えた、または何も録画されていない	①予約登録が更新録画となっていた。 ②予約録画実行時、受信障害や放送休止（放送録画の場合）になっていた。または、信号が入力されていなかった（外部入力録画の場合）。 ③録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れた。	①消去したくない番組は、削除ロックしてください。 ②正常に受信できない場合や休止中で放送されていない場合は録画できません。外部入力録画で外部入力信号が入力されていない場合も録画できません。放送状況、外部入力状況を確認してみてください。 ③録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで HDD 録画や再生時に電源が切れると、録画番組が消えたりすることがあります。 **消えた番組は補償されません。**	77 44 45 20
録画した番組が全て消えた	録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れた。	録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで HDD 録画や再生時に電源が切れると、録画番組が消えたり、HDD 録画や再生ができなくなることがあります。 **消えた番組は補償されません。**	20
メニュー、番組表、録画番組などの画面表示動作が遅いときがある	録画中などでテレビの内部処理が一時的に重くなっている場合に、画面表示の動作が遅くなることがありますが、故障ではありません。		44

メ　モ

参照ページマークについて

■マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。
□マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

メッセージ表示一覧

本機ではデジタル放送のとき、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容または対処のしかた
IC カードを正しく挿入してください	B-CAS カードが本体に正しく挿入されているか、「B-CAS カードの挿入」40 をご覧になり確認してください。
放送チャンネルではないため、視聴できません コード：E200	このチャンネル（番組）は、本機では視聴することができません。
降雨対応放送を受信中 コード：E201	雨などの影響で衛星からの電波が弱くなり、降雨対応放送に切り換わりました。天候が回復すれば自動的に元の放送に戻ります。
受信レベルが低下しています コード：E201	・一時的に電波が弱くなっている。 ・アンテナの調整が正しくできているか、アンテナ線は正しく接続されているか、「BS/CS アンテナの接続」38 と「CH 合せ (BS)」または「CH 合せ (CS)」116 をご覧になり確認してください。
アンテナ接続か放送電波に不具合があるため 現在、ご覧になれません コード：E202	・アンテナの調整が正しくできているか、アンテナ線は正しく接続されているか、「BS/CS アンテナの接続」38 と「CH 合せ (BS)」または「CH 合せ (CS)」116 をご覧になり確認してください。 ・放送局の整備などで電波が停止していることもあります。 ・雷雨や豪雨のような気象条件により、受信できなくなることがあります。天候が回復すれば自動的に元の放送に戻ります。
現在、この放送は休止しています コード：E203	選局したチャンネルでは、現在、番組を放送していません。他のチャンネルをご覧ください。
このチャンネルはありません コード：E204	選局したチャンネルでは、放送が行われていません。
チャンネル登録されていません	
コンバーター電源の保護が働いています 電源プラグを抜きアンテナ線を外して、アンテナ線とアンテナが異常ないか確認ください コード：E209	アンテナのコンバーター電源がショートしています。「BS/CS アンテナの接続」38 をご覧になり、アンテナやアンテナ線に問題がないか確認してください。
このチャンネルはご覧になれません コード：E210	本機の対応していないサービスを選局しました。他のチャンネルを選局してください。
この IC カードは使用できません 正しい IC カードを挿入してください コード：EC01	B-CAS カード以外の IC カードが挿入されているか、カードの表裏が逆に挿入されています。B-CAS カードを正しく挿入してください。
電話回線の接続をご確認のうえ ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：8109	電話回線の接続と設定を確認してください。
このチャンネルはご契約されていません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご契約しているチャンネルかお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
契約期限が切れています ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご覧のチャンネルの契約内容をお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
このチャンネルはご覧になれません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご契約しているチャンネルかお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
IC カードの交換が必要です ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	B-CAS カードに不具合が発生していることがあります。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
この IC カードは使用できません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	B-CAS カードに不具合が発生していることがあります。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。

＊＊＊＊には英数字が表示されます。

HDD 操作のとき

メッセージ	内容または対処のしかた
HDD（または iVDR）容量がいっぱいです	HDD（または iVDR）の空き容量がなくなっています。不要な録画済み番組を消去してください。
HDD（または iVDR）容量がいっぱいです 録画を停止しました	録画中にHDD(またはiVDR)の空き容量がなくなりました。不要な録画済み番組を消去してください。
HDD（または iVDR）容量が少なくなっています	HDD（または iVDR）の空き容量が残り少なくなっています。不要な録画済み番組を消去してください。
録画時間が 10 時間をこえましたので 録画を停止しました	連続 10 時間以上録画をしようとした。1 回の録画時間は 10 時間までにしてください。44
HDD（または iVDR）容量が足りません	HDD（または iVDR）容量が足りません。 不要な録画済み番組を消去して、HDD（または iVDR）容量を確保してください。
録画中は操作できません	デジタル放送（BS デジタル、110 度 CS デジタル、地上デジタル放送）を録画中に、2 画面の録画側を他のデジタル放送チャンネルを選局操作などをした。デジタル放送を録画中は、他のデジタル放送チャンネルを選局できません。
再生中は操作できません	再生中に選局操作などをした。再生中は選局操作はできません。
ダビング中です	ダビング処理中はその操作はできません。
移動中です 中止はできません	移動処理中はその操作はできません。
ダビングを中止しました	ダビング処理中止の操作などにより、ダビング処理を中止した。ダビング処理を再開するときは、ダビングの手順 88 にもとづいて、再度、ダビング操作をおこなってください。
移動を中止しました	移動処理中止の操作により、移動処理を中止した。
番組数が最大になりました 番組を削除してください	録画済み番組数が上限（999）になりました。不要な録画済み番組を消去してください。 44、78
番組がコピーガードされています 録画できません	コピーガードがかかっている番組を録画しようとした 。コピーガードのかかっている番組 (外部入力含む) は録画できません。
HDD（または iVDR）の準備中です しばらくお待ちください	HDD（または iVDR）の立ち上げ中、または HDD（または iVDR）が省電力モードに入っているときに HDD（または iVDR）をアクセスする操作をした。 しばらく待ってから操作を行ってください。
HDD（または iVDR）の初期化中です しばらくお待ちください	HDD（または iVDR）の初期化を行なった。 メッセージが消えてから操作してください。
HDD（または iVDR）にアクセスできません（1）/（2）	録画・再生または録画番組操作時などで HDD（または iVDR）にアクセスできなかった場合に表示されます 。AC 電源プラグを抜き、スタンバイ / 受像ランプが消灯してから電源を入れて、もう一度同じ操作をしてください。繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
HDD(または iVDR)にアクセスできません(3)	他の iVDR 対応機器で使用された iVDR が正常に終了されなかった場合に表示されます。 iVDR 対応機器で正常に終了してからご使用ください。
HDD（または iVDR）にアクセスできません 再生を停止しました	再生中に HDD (または iVDR) にアクセスできなくなった場合に表示されます 。AC 電源プラグを抜き、スタンバイ / 受像ランプが消灯してから電源を入れて、もう一度同じ操作をしてください。繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
HDD（または iVDR）にアクセスできません 録画を停止しました	録画中に HDD(または iVDR)にアクセスできなくなった場合に表示されます 。AC 電源プラグを抜き、スタンバイ / 受像ランプが消灯してから電源を入れて、もう一度同じ操作をしてください。繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
HDD（または iVDR）の初期化ができません	HDD（または iVDR）の初期化に失敗しました。 AC 電源プラグを抜き、スタンバイ / 受像ランプが消灯してから電源を入れてください。その後、再度 HDD 初期化 124 を行なってください。
iVDR が挿入されていません	録画先を iVDR にして、録画しようとした場合などに表示されます。 iVDR をスロットに入れてください。
挿入された iVDR-S（または iVDR）を認識しました	iVDR-S（または iVDR）をスロットに入れたとき表示されます。
iVDR が初期化されていないため録画できません	未フォーマットの iVDR に録画しようとした場合に表示されます。 メニュー「初期設定」－「ディスク設定」124で初期化を行ってください。
このディスクはセキュア対応 iVDR ではないのでこの番組は録画できません	セキュア非対応 iVDR にコピーワンスやダビング 10 のデジタル放送番組を録画しようとした場合などに表示されます。コピーワンス番組の録画を行う場合はセキュア対応 iVDR-S をご使用ください。

参照ページマークについて

マークは、「②操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

マークは、「①準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

メニュー階層

メニュー画面からいろいろな機能が選択できます。
各機能のくわしい説明は、📖内のページをご覧ください。
●リモコンの戻るボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

メ　モ

参照ページマークについて

マークは､「② 操作編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

マークは､「① 準備編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

困ったときは

保証とアフターサービス（必ずご覧ください。）

修理を依頼されるときは（出張修理）

146 ～ 155 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証対象装置：本体　お手持ちの機種名

保証期間…お買い上げ日から 1 年です。

補修用性能部品の保有期間

テレビの補修用性能部品の保有期間は、製造打切後 8 年です。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

ご連絡していただきたい内容

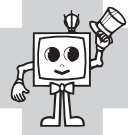
品　　名	日立プラズマテレビ
形　　名	本　体　：P37-HR02 P42-HR02 P50-HR02 リモコン：C-RP8 本　体　：P50-XR02 リモコン：C-RP7
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども 合わせてお知らせください。
お　名　前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（　　　）	年　月　日

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

➡

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ TEL 0120-3121-68 FAX 0120-3121-87 （受付時間） 9：00～19：00（365日） 携帯電話、PHSからもご利用できます。	商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ TEL 0120-3121-11 FAX 0120-3121-34 （受付時間）9:00～17:30（月～土）、9:00～17:00（日、祝日） 年末年始は休ませていただきます。 携帯電話、PHSからもご利用できます。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記エコーセンターまたはお客様相談センターにて、各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
●次のページに「お問い合わせ診断シート」があります。
お問い合わせの前にご確認ください。

お問い合わせ診断シート

本機の故障・不具合などのお問い合わせの際には、以下の情報が役に立ちます。
このシートにご記入の上、お客様相談センターへお問い合わせください。

●確認の基本事項	
(1) 機種名（形名）	□ P37-HR02　□ P42-HR02　□ P50-HR02　□ P50-XR02
(2) カード情報	『操作編』143 ページの「カード情報を見る」の操作で 表示される画面の下の 16 ケタ数字を確認してください。 ＿＿＿－＿＿＿／＿＿＿－＿＿＿ カード情報 カード識別　：ＢＡ０３ カードＩＤ　：1111-2222-3333-4444-5555 グループＩＤ： 0000_1234/0000_0000　カードテスト 決定 実行　戻る 終了 16 ケタの数字
(3) 受信環境	□① 自宅のアンテナ　□② 共聴アンテナ（共同受信）　□③ CATV（ケーブルテレビ）
(4) ブースターの有無	□① 使用している　□② 使用していない　□③ 不明
(5) 受信放送	□① 地上アナログ放送　□② 地上デジタル放送　□③ BS デジタル放送　□ ④ CS デジタル放送 □⑤ ケーブルテレビのホームターミナルで受信し、外部入力で視聴　□ ⑥その他機器（スカパーなど）を外部入力で視聴
●電源が入らない / 切れる	
(6) 本体ランプの状態	□① 橙色　□② 青色　□③ 赤色　□④ 消灯　□⑤ その他 ↓ □点灯　□点滅 ↓（　　　　　　　　） ランプ位置
(7) メニュー表示は	□① 表示する　□② 表示しない
(8) リモコンでオンしたときに本体内部からカチッという音が聞こえるか	□① 聞こえる　□② 聞こえない
(9) 発生頻度	□① 常時　□② 2 ～ 3 回に 1 回の割合　□③ 稀に　□④ その他〔　　　　　　　　〕
○映像が映らない	
(10) 映らない映像は	□① 地上アナログ放送　□② 地上デジタル放送　□③ BS デジタル放送　□④ CS デジタル放送 □⑤ 外部入力〔　　　　　　　　〕
(11) 映らないチャンネルは	□① 特定の放送のチャンネル全部　□② 特定のチャンネルのみ
(12) チャンネル表示など、何か画面に表示は出ていますか	□① 出ない　□② 出ている（表示内容＝　　　　　　　　）
(13) 症状発生までの受信状況	□① 視聴できた　□② 初めて視聴したら映らなかった
(14) 映らない放送（チャンネル）の受信レベルは（アナログ放送除く）	受信レベル数値（　　　　）　『①準備編』106 ページの「地域名によるチャンネルの合わせかた」の操作で確認してください。
(15) B-CAS カードは	□① 入っている　□② 入ってない　※一度、B-CAS カードを抜き差しして映るようになるか確認してください。
○録画ができない	
(16) 録画放送	□① 地上アナログ放送　□② 地上デジタル放送　□③ BS デジタル放送　□④ CS デジタル放送 □⑤ 外部入力〔　　　　　　　　〕
(17) 録画方法	□①直接録画　□② 予約録画（　番組表　・　マニュアル　）
(18) 録画番組	□①特定の番組　　　　□② 全て ↓ 月 / 日　開始時間　～　記録時間　放送　チャンネル　録画モード ＿/＿　＿：＿　＿分　＿　＿　＿
(19) 録画指定場所	□内蔵 HDD　ディスク残量：　　%（リモコンの残量ボタンを押す（『操作編』42 ページ記載） □外部 iVDR　ディスク残量：　　%（リモコンの残量ボタンを押す（『操作編』42 ページ記載）
(20) 実行結果（予約時のみ）	□① 実行　□② 取消　□③ 失敗　□④ 削除　□⑤ 代行（『操作編』61 ページ記載）
(21) 発生頻度	□① 常時　□② ＿＿回に 1 回の割合　□③ まれに　□④ その他〔　　　　　　　　〕
○ダビングができない	
(22) ダビングしたい番組	□① 地上アナログ放送　□②地上デジタル放送　□③ BS デジタル放送　□④ CS デジタル放送 録画モード〔　　　　　　　　〕
(23) ダビングの方向は	どこから　□① 内蔵 HDD　□② 外部 iVDR どこへ　□① 内蔵 HDD　□② 外部 iVDR
(24) ダビングモード	□① 高速ダビング　□②レート変換〔 □ XP　□ SP　□ LP　□ EP　□全て 〕
(25) 発生頻度	□① 常時　□② ＿＿回に 1 回の割合　□③ まれに　□④ その他〔　　　　　　　　〕
(26) ダビングできないタイミングは	□①指定した番組を選択できない □②ダビング途中でメッセージが出て停止する □③フリーズして動かない<何分程度の時点？> □④ダビング後、映像が黒画面のままの再生 □⑤その他〔　　　　　　　　〕
○再生できない	
(27) 内容	□①「録画番組」画面が表示しない　□②録画番組を選択しても再生しない　□③操作できない（フリーズ） □④ブロックノイズが出る　□④その他〔　　　　　　　　〕
(28) 再生する映像	□内蔵 HDD　詳細症状は？：□録画番組画面が開かない　□黒画面のまま　□すぐに放送画面に戻る □外部 iVDR　番組数は？　：□複数の番組が再生できない　□特定の番組が再生できない〔番組名　　　　〕
(29) 発生頻度	□① 常時　□② ＿＿回に 1 回の割合　□③ まれに □④ その他〔　　　　　　　　〕
○その他の症状	
(30) 詳細内容（症状を詳しく書いてください）	
(31) 発生頻度	□① 常時　□② ＿＿回に 1 回の割合　□③ まれに □④ その他〔　　　　　　　　〕

Quick Reference

Remote Control Buttons and Functions

[DISPLAY] button
Press to display the channel or video input.

[POWER] button
Press to turn the TV on or off.

[BROADCAST SELECT] buttons
Press to select a broadcast.

[CHANNEL] buttons
Press to select a channel.

[MUTE] button
Press to turn off the sound temporally.

[VOLUME UP/DOWN] buttons
Press to control the volume.

[COLOR] buttons
(Blue, Red, Green, Yellow)
Use to operate EPG or data broadcast.

[EPG] button
Press to display Electronic Program Guide(EPG).

[CURRENT PROGRAM] button
Press to view a program at the same time on a difference ch.

[MENU] button
Press to display TV setup and control.

[CURSOR] button
Use to select items on the menu, etc.

[Wooo Link] button
Press to select Theater mode.

[PAUSE] button
Press to pause while playback mode.

[SEARCH/SLOW] button
Press to search the program backward or forward.

[RECORDING] button
Press to start recording.

[10-SECOND BACK] button
Press to skip 10 seconds backward during playback mode.

[HDD/iVDR/REC MODE/REMAINING TIME] button
Press to select HDD/iVDR mode or Rec mode.

[AUDIO SELECT] button
Press to select audio mode.

[CH NO. INPUT] button
Press the button before selecting a digital channel using 3-digit channel number.

[CH UP/DOWN] buttons
Press to select the channel sequentially.

[INPUT SELECT] button
Press to select video input.

[PROGRAM DETAIL] button
(P37-HR02/P42-HR02/P50-HR02 only)
Press to display program detail on air.

[SWIVEL] button (P50-XR02 only)
Press to turn the TV left or right.

[PROGRAM NAVIGATION] button
Press to display program navigation.

ⓓ [DATA] button
Press to show data broadcast.

[ENTER] button
Press to confirm a selected item or setting.

[RETURN] button
Press to go back one step or to return to normal picture.

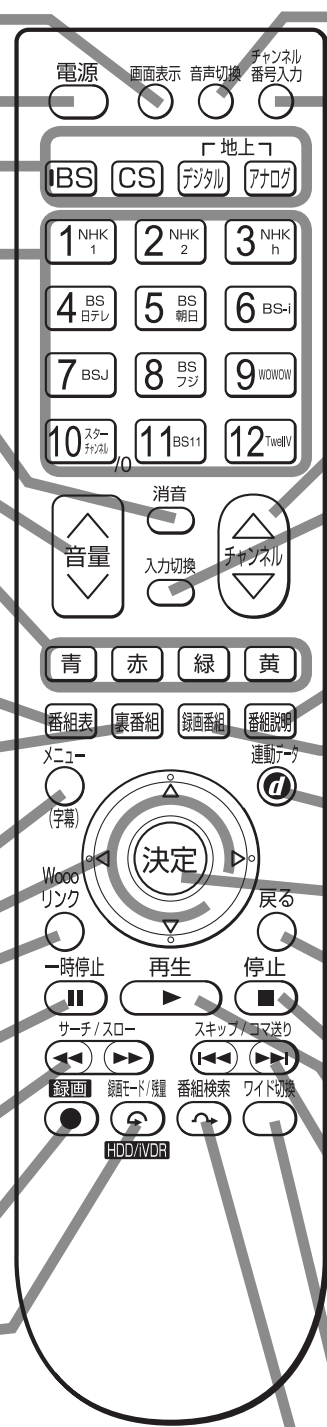
[STOP] button
Press to stop the playback.

[PLAY] button
Press to play a recorded program.

[SKIP/FRAME ADVANCE] buttons
Press to replay from the top of the chapter / to replay by frame skip while pause mode.

[ASPECT] button
Press to change the aspect ratio of the TV.

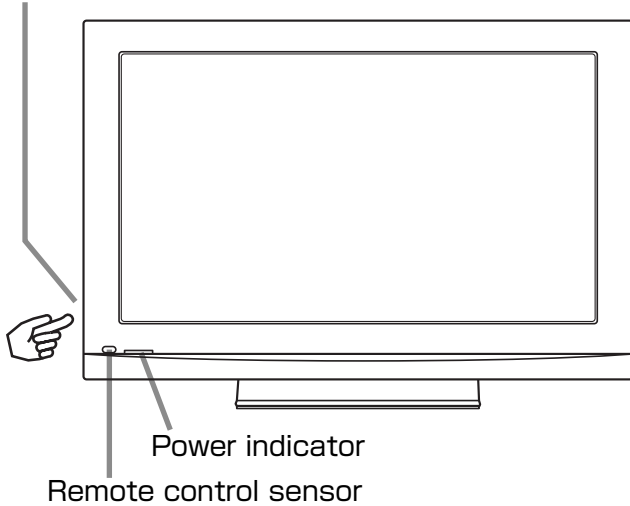
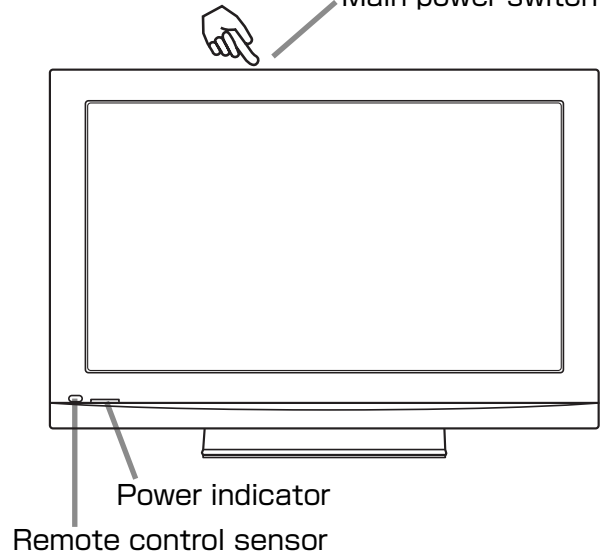
[PROGRAM SEARCH] button
Press to display program search screen.

[30-SECOND SKIP] button
Press to skip 30 seconds forward during playback mode.

Quick Reference

Preparation

■ Press the Main Power switch under the monitor.
・The power indicator lights blue.

P42-HR02/P50-HR02/P50-XR02

P37-HR02

Basic Operations

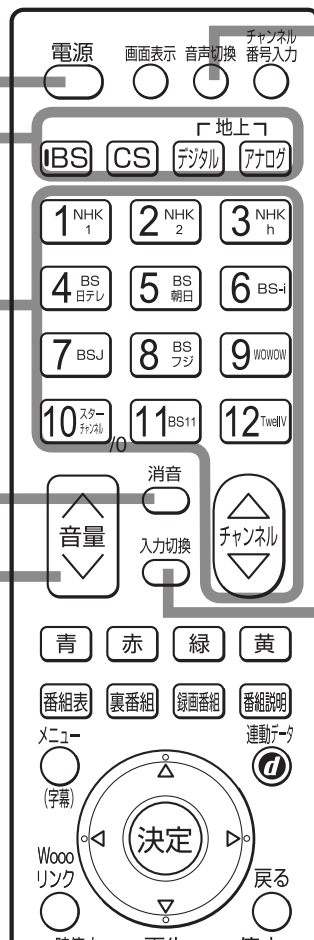
❶ Turn on the TV.
Turn off the TV.

❷ Select a broadcast.

地上デジタル：terrestrial digital
地上アナログ：terrestrial analog

❸ Select a channel.

Press to turn off sound temporally.

❹ Control the volume.

Press to select audio mode.

主 → 副 → 主 / 副
(Japanese) (Original) (Japanese+Original)

Press to select video input.

TV → HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 → VIDEO1 (ビデオ 1) → VIDEO2 (ビデオ 2) → VIDEO3 (ビデオ 3) → VIDEO4 (ビデオ 4) → TV

用語解説

3次元Y/C

116

Y（輝度）信号とC（色）信号を、水平・垂直・時間軸方向で分離し、映像ノイズを減らす回路です。

ビスタサイズ

30

映像ソフト画面の横と縦の比が、16：9になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

コンポーネント信号

輝度信号（Y）と2つの色差信号（PB/CB, PR/CR）に分離された映像信号です。DVDソフト、BS・CSデジタル放送などを高画質で楽しむことができます。

CATVホームターミナル

CATVのスクランブルのかかった有料放送を視聴するための専用チューナーです。CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。

D端子

124

デジタルチューナーなどのデジタル機器とテレビを接続するためのものです。コンポーネント映像信号を1本のケーブルで簡単に接続でき、走査線数、アスペクト比の制御信号も伝送することができます。入力または出力できる信号の走査線数によりD1～D5に分類されます。本機はD4（525i, 525p, 1125i, 750P）に対応しています。

デジタルハイビジョン放送

2000年12月に本放送を開始したBSデジタル放送で行われる高精細度ハイビジョン放送です。110°CSデジタル放送や地上デジタル放送でもデジタルハイビジョン放送を楽しむことができます。

アスペクト比

124

テレビ画面（または映像信号）の横と縦の比をいいます。通常テレビは4：3、ワイドテレビ（ハイビジョンテレビ）は16：9です。

525i(480i),525p(480p), 1125p(1080p),1125i(1080i),750P(720P)

放送される映像信号の走査線数、有効走査線数と走査方式の略称です。

1125p：走査線数1125本（有効走査線数1080本）、順次走査方式（プログレッシブ）
1125i：走査線数1125本（有効走査線数1080本）、飛び越し走査方式（インターレース）
525p：走査線数525本（有効走査線数480本）、順次走査方式（プログレッシブ）
525i：走査線数525本（有効走査線数480本）、飛び越し走査方式（インターレース）
750p：走査線数750本（有効走査線数720本）、順次走査方式（プログレッシブ）

これらの中で、1125p,1125iと750pをデジタルハイビジョン放送と呼びます。また、別の呼称として次のように表示することがあります。

・HD（High Definition）
・SD（Standard Definition）

インターレース

飛び越し走査方式のことで、従来のテレビ放送（NTSC標準方式）で採用している走査方式です。走査線を1本おきに飛び越して表示し、2枚で1画面（フレーム）を見せる方式です。

プログレッシブ

順次走査方式のことで、上から順に走査して表示する方式です。飛び越し走査方式に比べて、画面のチラツキ感の少ないきれいな映像を見ることができます。

HDMI

124

「High Definition Multimedia Interface」の略で、1本のケーブルで映像・音声・制御信号をあわせて伝送できるインターフェースです。
パソコンとディスプレイの接続に使われるデジタルインターフェースの「DVI(Digital Visual Interface)」をベースに、AV機器向けに発展させた規格です。

索　引

英数字

あいうえお

かきくけこ

さしすせそ

たちつてと

なにぬねの

はひふへほ

まみむめも

やゆよ

らりるれろ

わ

ユーザー登録のお願い

バージョンアップや今後のサービスなど、お客様に大切なご案内をさせていただく場合がございますので、ユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
お手数ですが、ご登録は下記 URL よりお願い致します。

http://av.hitachi.co.jp/entry/01.html

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
（受付時間）
9：00 ～ 19：00（365 日）
携帯電話、PHS からもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34
（受付時間）9:00 ～ 17:30（月～土）、9:00 ～ 17:00（日、祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHS からもご利用できます。

修理などアフターサービスに関するご相談の前に、故障かな？と思ったら 146～155 **をご覧ください。**

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆インクを使用しています。
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

株式会社 日立製作所

QR75196

〒 100-0004　東京都千代田区大手町二丁目２番１号　新大手町ビル

Printed in Japan TM-K(S)